京城日報
十八日夕刊
發行兼編輯人 奧田直[illegible]　印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

（行南）（行北）[illegible]

○支那の米資鐵道線變更
露國の強硬抗議に依り

當地外交界の確かなる消息に依れば這回の米資鐵道の內蒙古を縦て甘肅の新疆に到る線路は露國政府の強硬なる抗議に依り之を撤回するに決し更に長城以內に線路を變更する事となり米支間已に此件に關し交涉濟となり居れり(北京特電)

○副總統は馮國璋か

副總統選擧に就きては參衆兩院協議會を開き之を急速に實行す可きや憲法制定後にす可きや議會閉會期に於てす可きや等を討議する筈なるが急速選擧說最も多數なれば多分此れに決定す可く其候補者としては勿論馮國璋氏最も有力にして國民黨員は勿論梁啓超一派等之に贊成し居れば張勳が此際猛烈なる反對手段を執らざる限りは同氏の當選疑ひ無かる可し(北京特電)

○副總統選擧紛擾

參衆兩院協議會に於て副總統選擧は段祺瑞一派の牽制運動に依り其選擧期日を確定する能はず爲めに紛擾を惹起し馮國璋推擧反對の氣勢見ゆるに至れり(北京電報)

○汪外交總長案否決

汪大燮の外交總長同意案は衆議院に於て否決されたり(北京電報)

○北京近聞

北京公使館附小幡書記官並に王鴻年氏は十七日天津より門司入港の商船湖南丸にて著せるが小幡氏は曰く寺內內閣は一部分には彼此の評あるも官界側には一般に好評なり鄭家屯事件は外交總長決定と共に解決の筈又副總統は馮國璋氏安徽督軍を兼ね就任內定し居れり青木中將の顧問招聘は近きにある可し(門司特電)

○神嘗祭
宮中御祭典

十七日は神嘗祭に就き宮中賢所に於ては午前九時より掌典部員出仕御殿の裝飾を爲し九時半各式部官著床引續き東鄕大勳位寺內首相奧井上兩元帥長谷川朝鮮總督以下勅任待遇に至る迄著床(皇族方は御參列あらせられず)莊嚴なる祝樂奏中開扉神饌幣物を供し終つて九條掌典長恭々しく祝詞を奏す之より先きに　天皇陛下には波多野宮相內山侍從武官長其他の諸官を從へさせられ綾綺殿に渡御皇后陛下には千種典侍以下を從へさせられ出御御拜禮御告文を奏させ給ひ入御次で皇后陛下の御拜禮あり入御畢て前記諸官の拜禮あり再び神樂奏中に御閉扉神饌幣物を撤し各員退下爰に滯りなく祭典御終了相成たり(東京特電)

○觀艦式行幸

天皇陛下には來る二十五日午前七時二十五分宮城御出門東京灣に於て擧行の恆例觀艦式に行幸あらせらるる旨十七日仰出されたり(東京特電)

○立儲記念事業
後藤內相の通牒

來る十一月三日立太子式を擧行せらるゝを以て後藤新內相は文部省と協議の結果此機會を利用し全國地方青年團に對し此際忠君愛國を精神とせる記念事業等の企畫を獎勵せる意味の通牒を十六日各地方長官に發したるがこは皇太子殿下に於かせられては地方青年團に對し平素御懸念あらせらるゝ思召を體して特に發せられたるものなりと云へり(東京特電)

○立儲禮奉祝費
東京市會の可決

東京市にては十七日午後五時より市會を開き立太子禮奉祝費二萬一千圓を議題に上せ奧田市長の謹嚴なる表敬辭ありて滿場一致之を可決せり(東京特電)

○本野子歸朝期

(東京特電)

寺內內閣の外相たる可き駐露日本大使本野一郎子は二十四日露都出發西比利亞線經由歸國の途に就くに決したる旨北筋に電報ありたり(東京特電)

○駐露代理大使

本野大使歸任に就き駐露大使館一等書記官丸毛直利氏臨時代理大使を命せらる(東京電報)

○監察官存置決定

內務監察官は依然として存置する事に決定せり(東京電報)

○兩黨殘黨合同か

公友倶樂部及び中正會の殘黨は議會開會を期し合同すべしと觀測する者あり(東京電報)

○陸軍省視察員

陸軍省審査官松井步兵中佐經理局員芝田二等主計正臨時脚氣調査會御用掛朝倉一等軍醫等は十九師團各隊の狀況視察の爲め新羅丸にて上陸午前十時半發列車にて龍山に向ふ(釜山特電)

○聯軍の希臘假政府承認

倫敦來電＝聯合軍はヴェネゼロス氏に依りクリート島に樹立されたる假政府を承認せり(紐育電報)

○希臘運輸機關の管理

雅典來電＝聯合軍はテッサリー鐵道の管理を完全に其手中に獲得し之に依つて希臘軍隊の輸送は全く禁止せられたり佛國將校はパイリアスよりラリッサに到る全沿線を監督しつゝあり又佛軍の旗艦はパイリアス港に到著したるが同港の運輸も又聯合軍管理の下に調節せらる可し希臘內閣はテッサリーなる自國軍隊への軍器供給に關し多少の權利を保留し置かん事を考慮しつゝあり又外務省政務局長はサロニカに向へるが此所にて國民內閣の外相の任に就きたる上更に外交上の任務を帶びて某方面に赴く可し(倫敦電報)

○露潜艇の土國船捕獲

一露國潜航艇はボスポラス海峽附近に於て獨逸海軍將校に依り指揮せられたる六千噸の土耳其武裝運送船と一時間に亙る戰鬪を交へて遂に之を捕獲してセヴアストポール港に曳き來れり(露都電報)

○ソンム南方佛軍の成功

巴里來電＝十四日發表の公報に曰くソンム南方に於て佛軍は一回の花々しき攻擊を行ひて成功を納めたり即ち攻擊の一はペロイサンテールの西方に於て行はれ幅二基米突に亙る獨軍の第一線を奪取し他の攻擊はゲネルモン及び製糖工場を占領しアブレンクール東北千二百米突の敵の戰線を奪取し多數の捕虜を獲たり今日迄に後送せる敵の負傷せざる捕虜は八百名にして內將校十八名あり(倫敦電報)

○獨逸食糧大臣辭職

獨逸食糧大臣バトツキは食糧品の價格調節に失敗せる爲め辭職せり(紐育電報)

●東拓總裁は困難の地位なりと
石塚長官の歸來談

近く東拓總裁を命ぜらるべき石塚農商工部長官の歸任を京釜線の車中に迎ふ長官は曰く吾輩の東拓總裁は大隈內閣の末寺內伯の推擧により內命を受けてゐたが手續きの關係上今日迄其の發表は延引してゐる、但し長谷川新總督の親任も濟んだから、恐らく一兩日中に公にされる事と思ふ、質を云ふと東拓總裁は非常に

▲難かしい地位 である、內外衆論の會社に佳ならざるあり、主の步調一致に遺憾の點なしとせず非才予の如き到底其の任に非ずと考へ、京城出發東上の際より固く辭意を持してゐたが、寺內伯の勸告並に周圍の諸種の紛糾せる事情は遂に予を起たざる可からざる立場に陷れた、本來ならば公表迄東拓の事は不知不關で居らねばならぬのだが、官場民間共に予を夙に東拓總裁と目し予の緘默を許さぬから困つてゐる……(と苦笑しつゝ)今後の東拓乎、多少卑見もあるが、夫は任命公表の後にしやう差し向き東拓の問題は

▲政府補給金 三十萬圓の繼續如何にある寺內首相は補給繼續案を議會に必らず提出するとの意見であつたが果して議會が其の可否を何うするか分らない然らば其の補給金繼續を得ないと會社の存立が困難かと云へば行り樣で隨分通つて行ける途もあるだらう假へば五人の女中を置いてゐる家が收入の關係上二人に減らしても結構生活は可能る、役所で時々行る經費節減の行政整理の如き其の定員を減ずると始らく事務の進捗上に差し障りを生ずるけれど役所として立つて行くやうな物だ但し行れば無に勝る萬々で東拓當事者されては其の算盤の執り方に行詰りの氣味はしやう、副總裁理事諸氏の進退はどう極まるか予の就任後一協議をした上の事だ——(窓外を眺めつゝ)永らく內地にゐて朝鮮に來ると山河風物

▲實に荒涼の感 がする、耕地の整理稻作の狀況村落の配置等より見て朝鮮の荒放な事が泌々內地の集約的耕作に比し明らかに未開を語る、朝鮮農法の改良は未だ〱爲すべき又爲さゞる可らざる事が多い(話頭一轉)

▲政局の前途 が怎う落著くかは今日に於て全く不可解と云ふ外はないやうだ對政黨の關係を新內閣が如何に結んで行くか乎之今後の觀物である唯一部の新聞に書いてゐるやうに議會及び國民が寺內內閣を呪つてない、寺內々閣に惡感を有つてないと云ふ事實と見て好い、又下院が擧つて新內閣に反對すると云ふ如き事は萬あるまい、何となれば憲政會並に政友會の二大政黨は常に相背離する性質を有つてゐるからである、尤も今日新內閣に比較的近いと目せられてゐる政友會の內部にも最高幹部と少壯派の間に意見の阻隔を生じてゐるやうだ、憲政會も大隈內閣の編成した豫算を大體に於て新內閣が踏襲すれば此點に於て反對は出來まいが、內閣の信任を問ふなぞと云ふ擧措に出でぬとも限らぬ、乍然寺內首相は

▲誠心誠意 國家の爲めに努力されるらしく苟しくも內閣を引受けた以上十分の成算は有して居られる事と思ふ、新內閣難産說は初めから首相が新閣員諸氏に交涉したなら問題もなく遂に決定つたらうが、他に人材を罷むる爲め四五の方面に交涉を行ひそれが殆んど悉く辭退された爲めに起つたやうに聞いた、然し第一次の組織の政黨に基礎を有せざる寺內內閣として其の位の事は當然で寧ろ大命拜受後五日以內で組織し終つた事は寧ろ頗る迅速との世評であつた

●總督來任期

長谷川總督の入京期は未だ確定せざるも首相との間には幾多重要政務の引き繼ぎあり殊に立太子式の御擧行は目前に迫れることゝて本月中には來任の運びを見る能はざる可く早くとも十一月中旬なる可し

●新總督秘書官

長谷川總督の秘書官は總督就任と同時に詮考中なりしが愈々總督府事務官神田純一氏と決定し同氏は過般東上せり近く任命の發表を見る可し

●領事團招待宴

山縣政務總監は十六日午後六時より京城駐在各國總領事領事館員並夫人等を招待晚餐會を開き了て小山雪耕海岡金圭鎭兩氏の席上揮毫ありたり

●石塚長官歸任

東上中なりし石塚農商工部長官は小池參事を隨へ十八日午前八時五十分南大門著列車にて歸任したり

●川村元帥通過

川村元帥は第十七師團秋季演習終了後大連より上船歸京の豫定なりしも都合に依り十七日長春發、途中五龍背に一泊の上十九日午後七時三十分安東發直行にて朝鮮經由歸京の事となれり其の京城通過は二十日午前八時なる可し

●サ總督入京期

濠洲ニューサウスウェルス洲サヨク島駐劄總督サッター氏は夫人帶同奉天に赴く途次十七日午後九時南大門驛著汽車にて入京朝鮮ホテルに投宿

●長官會議開催

十七日は定例長官會議日なりしも當日は休日の爲め十八日午前十時より總督府第一會議室に開會、山縣政務總監以下各部長官局長等出席し通常政務に就き協議打合の上正午散會したり

●辭令

十六日附を以て左の通り辭令ありたり

大邱地方法院判事　藤原景吉
依願免本官

●長崎線猶缺航

朝鮮郵船會社の經營に係る長崎浦鹽間航路は八月長崎の虎疫猖獗を極めて以來長崎終點を門司に變じ今日に至り居れるが會社にては門司積込み北鮮及び浦鹽方面行き荷物頗る多く今日門司の發著を俄に長崎に變じ得ざる事情あり旁々來る十二月上旬迄は現狀維持を繼續し長崎缺航を繼續せしむる外なしと

釜山より
西海生　十七日夜

▲十七日、南大門より釜山に直路南下致し候、快晴の秋日和、山にも野にも秋色は今闌にて窓外の風物、蕭條たる裡にも捨て難き趣きあり

▲車中溫陽溫泉に赴く鷲尾參事等の一行あり、木浦に鐵路を巡視せんとする石川技師等あり、溫陽行きの一行は天安迄、木浦行きの諸氏は大田迄、秋日を他所に歡談を交へ候

▲金泉附近にて三等車の一婦人各其の抱ける二歲位の女兒を腰掛より床に取り落し頭部を強打せし爲め一時大騷ぎと相成り候、落されたる女兒は顏色蒼白と化し發熱烈しく一時其の容態氣遣はれ候も、專務車掌の手當て及び大邱停車中醫師の投劑にて漸く命丈けは取り留め候

▲列車が淸道密陽間を疾走中二個の投石右手の山より飛び來り候、其の一個は二等室二枚ガラスの外部一枚に拳大の穴を穿ち、散々にヒビを入れ一個は前部三等車の一枚ガラスを粉微塵に打破り、粉雪の如き破片附近の乘客の肩と云はず頭と云はず散亂之れ又大騷ぎと成り候、但し幸に怪我人なし是等性質の惡き惡戲には困たものに候

▲大邱には巡査憲兵醫師らしき人々が檢疫員と書せる腕章を附し熱心に虎列拉を警戒しつゝあるを見受け申候

●元山港の浚渫

土木局にては元山港に浚渫船金剛丸及びプリストマン式浚渫船二艘を今後碇泊せしめ築港內に於ける浚渫作業に從事せしむる由に付通航船は金剛丸の周圍百八十尺以上及びプリストマン式浚渫船の周圍六十尺以上を隔てゝ航行するを要するに付海運業者は注意を要すべし

●釜山守備隊の參加

釜山守備隊及び馬山守備隊の大部分は大田附近演習參加の爲め十七日午後十一時釜山發列車にて北上大田に下車十八日演習地點に集合せり

●農事獎勵會員視察

京畿道農事獎勵會高陽支會にては十八日水原模範の農場を見學することゝなり郡守引率の下に會員五十餘名同地に赴き視察の上即日歸郡したりと

義州

▲天長節と立太子式祝賀準備●義州內鮮人卅餘名は十四日午後二時より郡廳に會し兩祝日の祝賀方法に付き協議する處ありたるが大體に於て例年の天長節と同じく市中の裝飾は勿論義州公園に於て祝賀宴を張るを始め花火打揚提灯行列旗行列假裝行列角力公會堂に於ける內鮮藝妓の歌舞等の催しをなす可く議纏まり各委員分擔して直に着手する事となれり▲水道成績●十月一日より開通の義州水道は成績佳良にて每日午前八時より午後五時迄共同栓を放任し自由に給水す可く從來の井水の供給に比し安全にして便利となりしを以て一般鮮人等は文明の施設を謳歌しつゝあり給水規則は不日發布さるゝ筈

平壤

▲警務部長巡閲出張●平安南道警務部長瀧元次郎氏は管下警察巡閲の爲め十六日午前六時三十分平壤發列車にて安州に向へり今回の巡閲隊署は安州、寧邊、德川、孟山等にして出張日數は約三週間の豫定なりと▲兵庫縣農學生來る●兵庫縣立農學校生徒二十六名教員二名引率し見學の爲十六日午後九時四十分平壤著列車にて來壤せり十七日早朝牡丹臺に登り日淸日露の戰跡を視察し尙市內を見學し午後一時三十分發列車にて京城に向へり十八日は永登浦模範農場の見學を爲す由なり

仁川

▲天長節祝宴●仁川府尹久水三郎氏は來る三十一日天長節奉祝の爲め仁川公會堂に於て祝宴を張る由にて市內官民有數十名に招待狀を發したり▲商議役員會●仁川商業會議所にては十八日午後一時より役員會を開き共益社對鐵道運賃問題に就き協議する處あり▲中川警部巡視●近島に於ける虎疫蔓延の徵あるを以て中川警部は十八日管內各島を巡視したり▲奧田會頭入京●奧田貞次郎氏は露國輸出米及び其他の要件を帶びて十七日午前七時發列車にて入京したり▲入營者心得●從來入營者に對しては民團及び府廳の證明に依つて鐵道乘車賃金の割引を爲したるが朝鮮鐵道局にては本年四月よりは原籍地市町村長の證明書無き場合は割引を爲さゞる可しとの事なれば最早入營時期も切迫したる折柄新入營者は此際原籍地市町村長より證明書の下附を受く可しと

清州

▲坂口判事赴任●今回公州地方法院に轉任を命ぜられたる淸州支廳判事坂口喜助氏は十五日午前十時發赴任したり▲警務部長出張●櫻井忠北警務部長は防疫事務視察のため十五日淸州發沃川永同兩地方に出張したり▲公園の新設●東公園唐羨山上は從來適當なる平地なかりし爲め遊園地として不便勘なからざりしか今回忠北道にては昨年の殘務資金を以て右山巓約百五十坪の切下をなすことゝなしたれば現在の三角點を中心として適當の散策地を得ることゝなりたり

大田

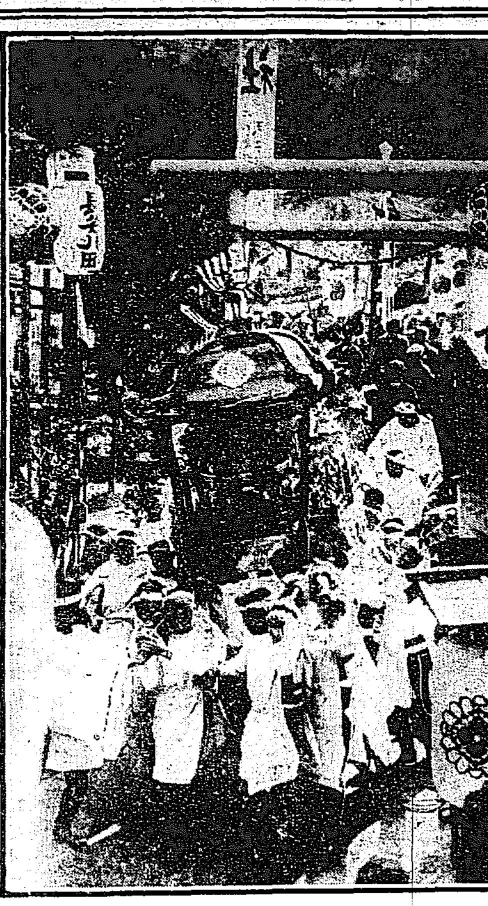
▲憲兵注射●大田憲兵分隊にては山分隊長を初め憲兵補助員に至るまで四十餘名は十六日虎疫豫防注射を行へり▲墓地認許●京城孝子洞百六十四番地男爵成岐運氏は大田郡九則面古今里外五山に家祖累代の墓地を選定し認可を申請中なりしが十二日道務部長より認可ありたり▲卵暴騰●機動演習の爲め三千の兵士來田を見込み諸物價騰貴しつゝありたるが卵は著しき暴騰をなし平常十二三錢位の物二十錢乃至二十二三錢を呼び居れり

光州

▲光州郡林野整理●光州郡廳にては先般來林野整理を行ひ境界を定めつゝあるが今迄に行ひたるもの九面一萬八千町步に達したるが始めは所有者一種の危懼の念を懷き障害多かりしも其後彼等も漸く其眞意を覺り極めて順調に進んで成績は至つて良好なるものあり▲不就學兒童數●全南管下には三十四の學校組合を有し比較的內地人敎育機關は行屆れるも尙ほ不就學兒童男百七十四名女百四十四名計三百十八名に及べるが尤も近く新設さるべき學校四校あり之に收容すべきもの百十一名の豫定なれば全く遠隔地に在つて就學不能のもの二百七名となれば當局に於ても目下之等兒童の敎育に就て研究しつゝあり▲殉職傳習生義捐金●先月濟州島翰林取漁業傳習生金九萬金信奎に對しては本道轄發の際船內に在りて船を操縱しつゝありしも遂に諸共溺沒死亡せし德性あり生金九萬の各郡廳員等非常に同情し義捐金醵出中なり此程約二百圓を醵金したるに依り近く濟州島司を經て遺族に贈る筈なりと▲棉花販賣一時停止●高興郡道陽面風岩里にては虎疫猖獗を極むるより同地棉花共同販賣所は一時閉鎖し從つて棉花取引も停止せり▲宮木長官歸任●濟州島視察中の宮木長官一行は十四日夜歸任せり

人事往來

▲閔丙奭氏(李王職長官)　十七日夜發東上
▲金東完氏(同事務官)　同上
▲李容植氏(子爵)　同上
▲李完用氏(伯爵)　同上
▲韓相龍氏(漢城銀行重役)　同上
▲趙鎭泰氏(商業銀行重役)　同上
▲上林敬次郎氏(山林部長)　風邪の爲め此の程より引籠靜養中
▲鄭保信吉氏(新義州支廳判事)　十七日夜入京
不知火艦船へ
▲筱岡政重氏(工學士)　十八日朝退京
▲白井水城氏(開城[illegible])　十八日入京
▲岩本良明氏(京城地方法院長)　十七日午後水原より歸京



神輿渡幸―十七日京城神社前

●祭の歡び　秋晴の二日
神輿揉みに揉んで市中を渡御

▼煌たる燎火

秋晴の十七日は京城神社の秋季例祭の當日なり、午前八時齋員、祭典委員一同の著床を俟つていと淸らかに掃き淨められたる神前に於て嚴かなる大祭式典を行ひ政務總監代理久芳事務官、金谷府尹その他の參拜あり李王李太王よりは御使を以て

□幣帛料一封の御寄進あり右式典終るや別項十八日龍山御旅所御發幸の時と同樣なる行列にて豫定の順路を經て南大門驛に出で此處より龍山側氏子加藤神社神輿の出迎へを受けて新龍山に渡御

元町和歌の池々畔なる御旅所に入り午後六時より齋主齋員著床御旅所祭を行なひ、同夜は御旅所前には煌々晝を欺むく大篝火を焚きて警護員數十名詰め切り神靈を安め奉り同所附近には彌生町に於ける彌生遊廓藝娼妓連の奉納踊

□各町有志奉納角力、博多仁輪加素人淨瑠璃大會、岩田鳳岩齋社中の生花大會等を催して賑ひを添へ參拜者及び餘興見物の老若男女引きも切らず頗る賑ひを呈したり

▼渡御の行列　秋日に映えて

嚢に龍山本願寺横和歌の池々畔に眞白なる淨砂敷き詰めて注連縄淸らけく木目鮮かなる白木造りの神々しふ設らへられたる御旅所に一泊ありし京城神社御鳳輦代は前日にも増して日射し麗かに

▼風暖き小春日の十八日午前八時谷村齋主、平井副齋主、大垣委員總長、その他齋員祭典係員等著床して御旅所發幸祭を執行し同十時前日と同じく鎧武者、金棒、大太鼓、大麻神社、號旗、猿田彦、前驅神職、天兵榊、大唐櫃、錦旗、御神劔、荷太鼓等の先導にて秋日に映ゆて燦光燦然たる神輿は倭が置きて色美しき

手綱繋げたる白毛の神馬、更に長柄の傘を差しかけ紅燃ゆるばかりの衣冠を正せる谷村齋主、平井副齋主乘馬にて、同じく紅袍帯劔の大垣委員總長の白髯を靡しつゝ悠然として

▼馬車に打乘れる扨ては齋員神職並びに各宗教師、各町堤灯町名旗祭典委員及び龍山彌生町連の擔たる加藤神社の御輿、一般奉迎者を隨がへたる物々しき行列にて元町三四丁目を揉みに揉んで曾て神靈が仁川より漢江を遡りて御上陸ありしといふ電車終點先きなる漢江岸に到り引返して八景園前に出で此處にて休息元町一、二丁目より憲兵派遣所にて休息それより南大門驛前にて休息此處にては京城側の氏子

▼多數の出迎へ　あり龍山側の氏子は引返しそれより太平通りの廣小路を練りに練つて午後一時本社前の廣場に到着此處にては例年の如く縱横無盡に揉みに揉んで揉み歩るき神輿は廣場の中央に設けられたる御休憩所に御休息、祭典係員一同は本社後庭に設け置きたる休憩所に入りて茶菓を喫め大に英氣を養ひたる上同二時出發、鍾路一丁目より南大門通りに出で黄金町に

折れて東拓前より永樂町を由り壽町を經て

▼總督官邸前に　到りそれより午後五時卅分無事本社に還御せられたるが神輿通御の沿道は前日の通り人出頗る多く非常の雜沓を呈せり

●ペスト卅名
四日市の患者

伊勢四日市に於けるペスト患者は初發以來三十名に達したり阪神兩市に於ては棉花の陸揚げせるものあるを以て極力豫防に努め居りしが十六日ペストの疑ある患者一名發生したるより一時大騷ぎを爲せしも檢診の結果ペスト菌を發見せず（大阪特電）

●倉庫を亞鉛塀で圍む
門司鼠疫警戒

四日市に發生せるペストを輸入せる呂宋丸積載の綿花五百梱は九月五日神戸より門司に廻送され内三百梱は既に大分中津久留米の各紡績會社に送りたるが殘り二百梱は門司市東洲岸の三井、郵船、村友の各倉庫に殘り居れば右三倉庫の建坪六百四十五坪は十七日周圍にトタン塀の圍ひを作りて黴菌の蔓延を防ぐ事となり十六日來準備中にて十七日より著手せり（門司特電）

平嶺山の決戰
吶聲山野を搖がす
十五日夜范家屯にて　勝村特派員

十四日范家屯を轄て退却したる松浦少將の北軍は同夜十二時頃に至り大屯西南方平嶺山より興隆屯北方標高二二五高地に亘り徹夜防禦工事に從事し其の主力隊を平嶺山南西なる喇嘛寺の森林中に潜ませ一平林騎兵中隊を以て長春街道及び孟家屯南方の敵狀を偵察せしめ十五日午前五時を以て各隊は各自の防禦陣地に就きたり之れに對し仙波少將の南軍は十四日午後六時孟家屯に至り追撃を中止し其の前哨線を孟家屯西南端より新開河に亘り配置し前衛を以て北軍を攻擊せんとせり。十五日、午前三時頃より出したる

▲雨は雪を交へて　北風烈しく、予は午前五時范家屯を發し途中新開河南岸に於て日露戰役の際に於ける永沼挺進隊の鐵道破壞の跡を訪び午前七時、平嶺山に於て統監部に合したり、午前五時、氣温零下四度を示す、此時既に川村元帥は長春より來り平嶺山頂の寒風に吹き曝らされ、中島關東都督、白井旅順要塞司令官、關東滿洲獨立守備隊司令官等と共に戰場を瞰下し、星野統監は平嶺山西北の高地に在つて兩軍を監す、平嶺山は大屯、范家屯との間に在り標高二八三の丘陵にして山麓に森林あり森林中に喇嘛寺あり長春奉天間の鐵道沿線に於ける第一の風光明媚の地にして又其の東二二五高地と共に長春以北の鐵道沿線に於ける最高の土地とす、加之平嶺山は奉天以北の線路の敷石を産するを以て知られ山中には滿鐵の支線を引込み盛んに石の採掘を行ふ山骨悉く嶮岩にして古代の地異を想見せしむ山上より南方を望めば平野海の如く守に易く攻むるに難き要害の地自然の保塁ともいふべし南軍の野砲兵は之れに對し新開河東北畑地附近の

本社前新券番藝妓屋臺

■森林中に放列を　布き午前七時第一發の砲彈を北軍の陣地に送り其時兵隊は何家棚鋪方面に前進しつゝあり前衛戰は七時三十分より漸次猛烈を加へ彼我の各部隊續々と喇嘛に出で潮の如くに押寄す、午前八時南軍は右翼方面に其の豫備隊を増加し迂廻して平嶺山の側面を衝かんとするを以て北軍又其の左翼に全豫備隊を配して森林中より猛射し野砲兵と共に攻擊軍に猛烈なる十字火を注ぐ攻撃軍は多大の犠牲を拂つて歩一歩塹壕に肉迫し猛烈なる攻擊を加へたれど守備軍の動作益々旺盛にして容易に之れを拔く能はず攻擊軍は陣前三百米突より俄かに左方へ直角の進路を取つて二百米突より突擊せんと…して通過し南軍の騎兵は背後より守備軍の砲兵陣地を蹂躙し同時に全線に亙る大突擊は平嶺山を開視して吶喊山野を動搖す、守備軍の將校は最後に至る迄中腹の好陣地に於て奮闘を續け

■慘憺たる白兵戰　は山上山下隈なく行はれ折りから濛霧林より起つて全山を包む、故に演習中止の喇叭四方より起り勇ましく旅團對抗演習は終了したり此の日支那人の觀戰者各地より集り來り村落の家根又は森林の樹上より此の壯烈なる砲聲攻擊戰を見る者到る處に黑山を築きたり

□威風堂々　我兵の武
長春城頭壯烈なる觀兵式

滿鐵の終點地たる日露支三國の國際境上に於て我兵威を輝かしたる十七師團演習は無事進捗し愈師團假設敵對抗演習の日は來りぬ十七日午前五時より行動を起し長春城東北五里より寛城子露停車場附近の線に亙り師團の全部活動を開始し砲兵は奈里堡水平溝の間に放列を敷き五時より八時に至り間斷なき猛射を長春城に注ぎ又工兵隊の地雷火は長春城外に於て二回爆發して轟然たる爆聲天地を震動せしむ八時五分南軍の左翼より突擊に移り全線に亙る喊聲長春城を動かせり八時二十分無事演習を終る。午後一時より長春北廣地に於て觀兵式擧行陪觀者として奉天吉林支那武官十餘名露國文武官十名なり整正たる我軍の行動は痛く支那及び露國文武官並に人民の感嘆措く能はざる所なりき殊に支那兵及び人民は初めて多數の日本兵を見て其威風を傳へ敬畏の念を起ぜり（長春特電）

□宴會　星野師團長は觀兵式終了後午後三時より川村元帥關東都督露支文武官十七師團將校及び公主嶺長春間の主なる官民新聞記者を長春ステーションに招待立食の饗應あり星野師團長の挨拶に次で同中將の發聲にて陛下の萬歳を三唱し國際滿鐵副總裁の答辭山内長春總領事の發聲にて陸軍の萬歲を三唱し宴を終れり（長春特電）

□川村元帥　川村元帥は十七日夜滿鐵經由山歸東の途に就く（長春特電）

本社中庭京城券番藝妓手踊り

●立太子式と學校の奉祝

來る十一月三日の立太子式當日に於て御眞影を拜戴せる府内各學校にありては當日午前九時半より生徒一同講堂に參集し君ケ代を合唱し職員生徒の順序にて御影に對し最敬禮を行ひ學校長は教育に關する勅語を奉讀し更に立太子式に關する訓話を爲し終りに立太子式奉祝の唱歌を合唱して散することに決定したるが尚此外當日は學校生徒の提灯行列又は旗行列等を行はんとするの内議もありて來る二十三日頃總督府に於て開會の官立學校長會の決議を俟て各學校共決定することゝなり居れり尚在一般の奉祝に付ては未だ時疫の流行全く終熄せざるを以て奉祝宴會等の如き催しは無かるべしと

●平壌神社　既報の如く平壌神社大祭は十六十七の兩日間行はれたるが兩日共好天氣にて市内は献燈國旗を飾り商家は幔幕を張り…神社に於て午後一時より大祭執行せられ松尾社掌祝詞を奏し本田府尹祭主として玉串を奉獻し工藤長官向井檢事長の兩勅任官河村潰…られ實探し煙火聚劔相撲等の奉納餘興催されたれば秋の野遊旁々行厨を提げて社前指して往く者續き煙火打揚げありたれば櫻町賑町邊又人出多く非常に雜沓せり（平壌）

●各港出生者　十月十七日… 十六日夕釜山入港香取丸一二等客
太郎、同千代子、長岡…、野阪茂三郎、野阪淳…、小西康茂、谷口信太郎、藤田源一郎、外人一名

●盜掘團檢擧
發見者四十名　聯合包圍

名山金剛山中の重石鑛脈を盜掘すべく昨年來鑛山坑夫其他山間住民の採掘をなすもの多く其筋の許可なきにも拘らず深山幽谷なるを幸ひ其筋の目を偸み數十人乃至百餘名も集團して大仕掛に盜掘をなし名山を損壞すること夥しきため江原道警務部にては本年九月以來是が取締りを一層嚴重にし金剛山の外壁を管轄せる各憲兵隊警察署にては全力を擧げて盜掘者を一掃せんとし晝夜の別なく山中を跋涉警戒し、各登山口にては怪しき者に就き携帶品の檢査、用向き等の誰何をなし併せて盜掘重石を搬出する通川郡長箭、杆城郡溫井里等に就き盜掘を教唆する内地人山師、盜掘重石故買等の疑ひある者に對し嚴重なる戸口調査を勵行し居れるが既に發見したるもの數件に達せり沿海の港灣に寄泊する汽船漁船等に對しても同樣臨檢して輸送を禁止し居れるが本月四、五、六の三日間に亙り高城憲兵分隊にては關係地域なる杆城、淮陽、通川等の各分隊、警察署より應援を得て四個班の大檢擧隊を組織し各部署を定め一齊に金剛山中を縱横に蹂躙捜索して盜掘者の多き一片蠶、九龍淵、細谷附近を驅り立て逮捕したるが又た九月末頃…憲兵派遣所員が採索したる際は…方面にて約三十名より成る一團を發見し内五名を捕へ其後同地…に於て重盜掘者の携帶したるものと覺しき内地人用小倉一個を發見したり（此は溫井里居住の測量師山本某等）京城北米倉町居住の某鑛山師…等の内地人の行動にも注視中なりと通川警察署にては廿名より成る坑夫の殘せるものらしきを以て是等怪しき等は漁船に盜掘重石を積込んとするを取押へ、鐵越憲兵分隊にても十一名の盜掘者を發見したり爲めに昨今金剛山の盜掘者は大恐慌を來し漸次退散しつゝありといふ

●東京灣頭の壯觀
廿五日擧行の恒例觀艦式參列艦隊

本月廿五日横濱沖に於て行はせらる可き恒例觀艦式參列艦隊は戰艦八隻巡洋戰艦八隻巡洋艦五隻其他の軍艦五隻驅逐艦四十三隻潜水艇六隻運送船一隻合計八十四隻其總噸數四十六萬七千五百七十二噸にして御召艦は筑波艦供奉艦は伊吹最上の兩艦に内定せりと（東京特電）

●猩紅熱頻發

南山幼稚園にては兒童に猩紅熱患者發生せるを以て月曜日より土曜日まで休業す又龍山元町一丁目友永ふみ子（七）は十四日診察猩紅熱と確定し同女は仁川高等女學校通學生なるを以て同校も二日間休業す

讀者文藝（一等には五十錢の賞品券を呈す）

「物は付け　美しいものは」
○御伽噺の龍宮（一等）　京城本町　吉岡一夢
△孝子の話　京城　上田生
△赤き晩の花嫁子　京城　心月軒
△嵐の仕丁衣　京城　東海
△功名の譚首び　清州　曉鳴

文部省認定　教育活動寫眞會

米國バーネット夫人原作　英國キネト會社撮影
「小公子」（全八卷四千五百尺　二百七十七場）
十月十九日（木）同二十日（金）兩日午後六時開場
□會場　壽座
主催　京城基督教青年會

□讀者課題及び募集規程

△ロ成週間題　同　十八日　十九日
△秋の…　同　十九日　二十日
△鳥將子と扇子で　同　二十日　廿一日

●募集規程　△用紙は端書又は半紙の洋紙一枚毎に紙面の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事△賞は一週間後△種類の異る毎に用紙を更ふる事△締切期日以内の事

天氣　▲晴れ一時曇り　▲十月十九日

商號登記公告
商號　岡村商會、營業ノ種類　酒類醬油類果物類販賣、營業所　京畿道開城郡松都面大和町武百五拾參番地、商號使用者ノ氏名住所　京畿道開城郡松都面大和町武百五拾參番地　大塚城之助
右大正五年拾月拾四日登記
京城地方法院開城支廳

一、ストーブ用燃筒貳千六百武拾八本
此入札保證金各自見積價格百分ノ五以上
右供給請負希望者ハ當學校組合ニ就キ入札心得書、仕樣書、契約書案等熟覽ノ上來ル廿日午前十時ニ入札スヘシ
此契約ハ京城府尹金谷充之ヲ擔任ス
大正五年十月十七日　京城學校組合

解雇廣告
店員　佐々木十太郎
本月十日外出歸宅致さず候に付同時に解雇仕候間今後當店と關係無之候間念の爲め紙上を以て廣告候也
大正五年十月十九日　京城南山町三丁目　秋吉富太郎

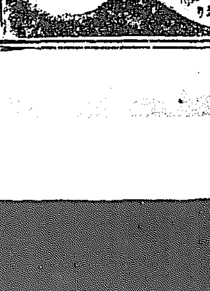
●寫眞の好時節
弊館儀多年東京に修業し其後大坂光村合資會社寫眞部主任として三越呉服店寫眞部技師として永年從業仕り居候處今般左記の所に於て開業仕候に付き陸續御用命の程伏して奉願上候　敬具
▲寫眞　御家庭御撮影の節は迅速出張可仕候
京城永樂町二丁目　電話二八三三　赤門寫眞館

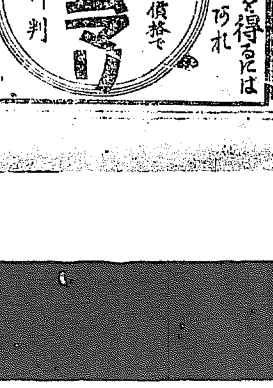
立太子式記念品進呈
弊店儀此度製造法に一大改革を施し加ふるに知名の關案家を招し當店特色たる品質及日限の正確は申迄もなく價格の如き斯界の問題と相成る樣…御愛顧の程奉願上候
東京本郷…

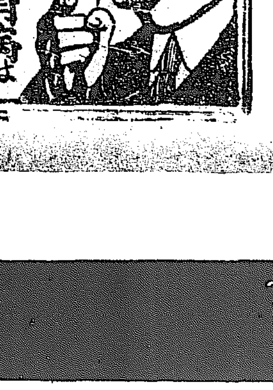
製作品目　徽章　賞牌　帽章　マーク　釦類
東京市神田區西小川町一丁目一番地　徽章賞牌製造　鶴澤商店
振替東京一九四八〇　電話本局二三九五番　（目錄送呈）

●玄米乳　消毒完全　御安心
東京化學研究所指定店
京城北米倉町　電話一四〇番　玄米製乳舍

明治公債株式會社　社員募集
京城黃金町　朝鮮支部
釜山幸町　釜山出張所
太田榮町　太田出張所
群山開町　群山出張所
清津敷島町　清津出張所
平壌本町　平壌出張所
元山仲町　元山出張所
大邱三笠町　大邱出張所
木浦大成洞　木浦派出所
咸興大和町　咸興派出所







湧き返る賑ひ 市中いろ〳〵

十七日の市中は天氣は晴れたり風はなし、早朝からポン〳〵と鳴り渡る煙火の音に、京城神社から繰り出して市中を練つて歩く神輿行列の

▽太鼓の音に 京龍市中は隅から隅まで湧き返へるやうに浮き立つた、神輿の行列が新町へ行くと此處では相當名の通つた大店では各々幔幕を張り廻して店の前には酒茶などの接待所を設けて休息の便に供したが滑稽だつたのはフロックコートに紳帽、紋付羽織袴の威容端然と行列に著いて來た

▽紳士繕商連 をお馴染らしい化粧の者がグイグイ曳張つて酒を酌いだり、神輿が例年の通り新町一帶の地を諸所方々と練り廻はり此處で大分手間取つたことだつた、それから狹い本町通りを一直線に郵便局前に出たが途中永樂町の休息所で休息の所その設備が無かつたゝめ釘本商店の前の狹い所に

▽御輿を据ゑ たのも幾つてゐた、そして途中から大神宮の參拜を終つた三祭連中の仕丁行列が加はる筈であつたが都合によつて今年に限り本町通りが通れぬ事となり豫定を變更して行列に加はれなかつたので本町筋に見物に出た人の中には非常に殘念がつてゐるものもあつた

▽仕丁行列は 例によつて美しく京城券番の百餘名は午後一時藝妓連の半頃本社の後庭に練り込んで餘興『神の榮』を綺麗に舞ひ納め終つて雜踏を開き二時過ぎに萬歳の聲を發して屋臺を曳き出したがそれから引續き新券番の百餘名も三時半頃囃子太鼓の音も賑かに同じく本社の後庭に練り込み餘興『夫婦萬歳』を舞つて威勢よく曳き上げた

▽夜になると 市中の各町内は提灯を點して景氣よく、南大門外の旅館組合では大屋臺を曳き出して練り歩き、料理屋組合、丸福會連中は夕景から壽座へ押掛けて芝居の衣裝を思ひ思ひに著けて義經から靜御前、仁木彈正もあれば熊坂長範夕霧伊左衛門に蝙蝠安までが飛び出して百鬼夜行の體たらく、面白く白水老人、喜久家の先生、千代本のお千代女將その他の連中はいづれも大に發揮して各料理店その他を押廻り十二時過ぎまで騷ぎ廻つた

十八日の本町通り

進明校十周年祝賀

財團法人私立進明女學校にては豫て同校の經營に係る女子高等普通學校の講堂新築中の所此程全く落成したるを以て來る二十一日午後一時より同落成の式を兼ね同校創立十周年記念會を開催し朝鮮の名士數十名を招待すべしと

奉祝歌の講習會

京城學校組合にては十九日午後三時より高等普通學校附屬普通學校に於て音樂講習會を開き鮮人側の公立普通學校及び私立學校教員一同に對し立太子式の奉祝歌を練習する由にて講師は高等普通學校の小出敎諭なりと

假装の腕較べ

賑はしい京城電氣會社の秋期大運動會

京城電氣會社の秋期大運動會は小春日和の獎忠壇で十七日午前十時から開催、なか〳〵の盛會であつた、競技は前後四十餘番、就中電車課、營業課、總務課の代表腕競べ假裝行列には驪助行列、桃太郎行列、神界魔界等の奇想天外的のものが現れて喝采を博した、終りに網引きがあつて中券美人總出の摸擬店も開かれ午後五時寺出度く散會

龍山御旅所前

京城在鄕軍人會の龍山射撃大會

京城在鄕軍人會にては來る二十二日午前十時より會員一同龍山練兵場に集合し夫より李泰院の射撃場に於て射撃大會を催すべしと

忽滑谷師開城行

元山方面に巡錫中なりし忽滑谷師は十九日夕歸京し同夜開城へ出發の筈

市十郎お別れ

本月初めより壽座に開演して大當りを取りたる市川市十郎一座は愈々十八日限り京城を打揚げ平壤に向ふ事となれり

婦人界消息

▲淵澤女史（淑明女學校長） 病氣にて引籠り中

▲古川夫人（横山商會支店長） 旭町中央病院へ入院病氣危篤のところ昨今稍快方に赴かれたり

●熊平支店主任の訃 熊平支店主任井關吉次郎氏は豫て病氣の處十七日午前三時心臟痲痺を以て遂に永眠せり行年僅かに三十有四歳氏は四十二年入店以來温厚篤實業務に精勵し熊平支店の今日あるに至れるも氏の努力に負ふ處大にして店主の信任篤かりしが、この事ある惜しむべし尚井關氏の遺言に依り遺産の内一百圓を京城府市生費に寄附せりと

を張り屛風を立て生花盆栽古器物[illegible]等を陳列するなど思ひ〳〵の裝飾を施し市中一般に賑ひたり殊に十七日[illegible]の門前は[illegible]し三の臺自動車客を滿載して送迎[illegible]なき盛況を呈せり祭典は午後一時から[illegible]に執行せられたが[illegible]時より櫻神社前に於て百數發の奉納[illegible]

[illegible]瀧田源一郎、外人連中[illegible]、勝[illegible]、橋本清次郎、佐々木寅、土楯卯之助、竹鼻繁造、榮吉一、目加田きく、脇田要次郎、同清[illegible]、木村三[illegible]、同ぶく子、片田[illegible]、郭榮堂

商況

東京株式特電

十八日 前場寄付 大引

日本郵船	[illegible]
京城電氣	[illegible]
滿洲紡績	[illegible]
同新株	[illegible]
日本麥酒	[illegible]
東株第一	[illegible]
東株第二	[illegible]
東新第二	[illegible]

東京公債直取引

十八日出値段（前日との比較）

五分利公債	[illegible]
五分利特別	[illegible]
四分利公債	[illegible]
甲號五分公債	七三、一〇

深川在米特電

十八日現在高

朝鮮米	[illegible]
地廻米	[illegible]
内地米	[illegible]

東京債券現物特電

十八日出値段（前日との比較）

東洋拓殖	[illegible]
京城電氣	[illegible]
朝鮮銀行	[illegible]
南滿鐵道	[illegible]

東京期米特電

十八日前場 寄付 / 後場

大阪株式特電

十八日 前場 後場

大阪三品特電

大阪期米特電

十八日後場

十月限	[illegible]
十一月限	[illegible]
十二月限	[illegible]
一月限	[illegible]
二月限	[illegible]
三月限	[illegible]

下關期米特電

十八日前場 寄付 中限 先限

雜報

●洋鐵類は不味 秋に入ると共に前途の相場を見越して内地需要の激增とにより漸騰歩調を辿りつゝありたる本品類も市場は閑散を極むると共に一方内地生産品も丸棒の如きは昨今各品共に市情は不味を呈し内地らもの目下鐵平鐵等の内比較的在荷潤沢なる [illegible]

●燐寸は好氣配 此處需要期に入りて内地賣行良好なる折柄頃日來歐洲方面よりの注文殺到したる事とて神戸製燐寸見せ名古屋製も幾分強含み氣配なり[illegible]

澱粉産地高

品の入荷を見るべく從つて手持筋の態度も追々強硬なり

産地近來の澱粉市況は賣買頭る旺盛にて今や相場は殆ど停止する處を知らざる勢ひなりといふ最近の手合は現物檢一等七十圓五十錢處にて買氣滿々たるも賣人は強硬に釣り上げんとしつゝあれば結局は爆發を見ずんば止まざる如く殆ど其猛進振りに停止するを知らず[illegible]十圓の相場を現出するに至るべし

仁川在庫穀物

仁川穀物協會調査の十五日末穀物在庫數は左の如し

玄米	八二、四一九叺	籾	五八俵
白米	二、九三六叺	粉米	四一叺
大豆	二、二六八叺	小豆	九八叺
胡麻	七五三叺	小麥	三、五二四叺
稗米	一四叺 七九袋		一〇三俵

正米は稍々強し

新米は過般出廻りの増加に連れ相場は自ら漸落歩調を辿り十六日に至り遂に上云の十一圓六十錢唱へ迄引下げしのみならず比較的下落ふりの狀態なりし仁川正米市場も同日に至り新穀の出廻り等に一氣七八十錢方の下落を傳へ氣勢更に軟化の狀合ひなりしが今朝は之に反し案外氣直り相場は前日に比し二十錢唱へ鮮白の如き一層の強氣配を呈せしが之此一兩日米賣物を減じたると今日迄が各地に比し聊か氣走りたるての反

一時的の象

[illegible]に過ぎざるべし新米出廻り模樣も例年の如く早稻中稻この間に於ける出廻り途切れといへば此際再び軟調に移り行くを見ざるべからず[illegible]

精白と移出

當地精白米は値段の不引合ひによりて[illegible]

値鞘の接近

[illegible]

生果類稍引立

昨今兩日共入荷著減少なりし[illegible]

下關相場

▲朝鮮白米は不引立 依然産地との比較上不引合を稍に安くは手放し[illegible]

京城正米

今朝は期米の稍々引戻し氣味なりしと新米賣物も昨今兩日共に少なかりしやにて過般來漸落續きの機先之が反動を來たし[illegible]

十七日分

島山白米	二三六叺	水原大豆	二八叺
鳥致院芒子	一五〇叺	平康白豆	二五叺
島山籾	九九叺	鳥致院白豆	三〇叺

南大門の廻穀

二十錢高

約三十錢高

京城雜穀

十八日分

島山白米	七八叺	金村籾	四九叺
深川花子	八叺	金鎭白米	一九四叺
水原白米	三二叺	鳥致院豆	五三叺
鳥致院白	四一叺		
仁川玄米	三五〇叺	島山籾	五七叺
仁川玄米	三五〇叺	島山糯	二七叺
島山糯	一八四叺	水原白米	一九〇叺
平澤白米	二一叺	水原大豆	一九五叺
平澤玄米	四五叺	仁川白米	一二九叺
鳥山白米	一四六叺	仁川胡麻	一一〇叺
鳥致院白	三七叺	鳥致院小豆	二一叺
開城糯麥	一八叺	黄州綠豆	二七叺

釜山市場

十七日

▲正米（氣配五七錢安） 昨今新米の出廻り激增の狀態にして市場賣物潤澤なり[illegible]

▲大豆 本朝は買氣人なくされ共氣配は一般に十錢方安値の如し

仁川現物市場

▲籾入津昨今七八百俵

三巳仲買店

仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 電話三三二一

生魚市場

入荷は昨今稍減少[illegible]

仁川期米

十八日前場 大阪天候晴

天前寄十五圓十四錢 一昨止より十三錢 小甘き移り 高の入電二節十一

大阪二節十五錢

四節二十三錢五節

二十九錢と暴騰

八節三十錢を移し

仁川米豆取引所

十八日の十一月限

乾物小賣相場

小賣白米

市場零聞

▲俄然跳ね返す 晴天一昨夜來の大阪の上寄は左大引は七十六錢と上寄たるも甘き曳けたるが[illegible]

▲依然賣氣旺盛なる面有力なる買物現はれ大阪の漸騰に强硬の場面と化したるが[illegible]

▲大阪の鞘も遂に三ニ

白四十五丁

▲㋑大に賣る 今前場[illegible]

▲㊥八に賣る 前場同店より[illegible]

▲㋣大に賣る 前場同店より[illegible]

▲㋮利喰賣 前場同店より[illegible]

▲㊦優勢に買ふ 前場同店より[illegible]

▲㊐能く買ふ 前場同店より[illegible]

▲㊎全能く買ふ 前場同店より[illegible]

▲㋾巨大に買ふ 前場同店より[illegible]

▲㋪の大繭内 前場同店より[illegible]

演藝案内

浪花館

明治町 電話二六〇

○東都女流浪界之大關 桃中軒桃子改め日の本三都子孃來る 今晩の讀物△武道の譽れ（武雄）△[illegible] 生の失敗（桃右衛門）△長州萩の役（長謳）二席神田伯猿）△五郎正宗（[illegible] 本三都子孃）毎夜正六時半開演

壽座

京城壽町 電話五七八番

十八日の狂言本日限り千秋樂 前伊賀越道中双六 中鎌倉三代記 切安珍清姬日高川

大正館

櫻井町 電話八七三

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店

御成座

御成町 電話一九一

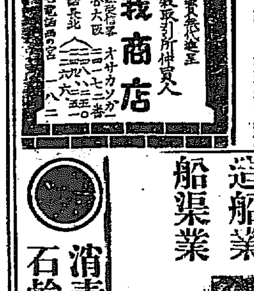
有樂館

本町一丁目 電話二六六

日本活動寫眞株式會社特約

黄金館

電話二一八五三（階上）二六三七（階下）



期米

大阪堂島米穀取引所仲買人 曾我商店 カネ 籾 [illegible]

消毒石鹸 アルボース

鐵工業 造船業 船渠業 合資會社 中村組鐵工部 電話一六一番

內科 小兒科 外科 花柳病 診察 自午前八時至午後九時 西小門町舊醫院跡（電話一三二五）高井醫院分院 院長正六位勳四等 高井 副院長千葉醫學士 松崎正貞彥治

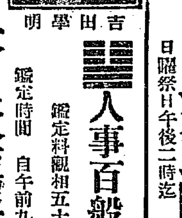
本館所設の學理を保證のため一般病者の治療を爲す
◎飲酒喫煙其他一切の惡癖に苦しむ者は來れ
◎諸藥効なく新臨禁厭も驗しなき難病患者は來れ
◎遠隔の地にして直接治療を受け難きものに對しては遠隔治療を爲す
疾病の撲滅惡癖の矯正

◎男女共に適する新職業
帝國健全哲學館大學教授科目中の哲理治療法一ケ月速成教授を爲す
◎高尚にして社會に有益なる新職業を要望せらるゝ士女は來れ
◎卒業生には本大學と同資格を授く規則入用の者は端書にて申込め
釜山府大廳町一丁目三十番地
帝國健全哲學館大學分館
朝鮮健全哲學館
館長 哲學士 江藤旭洲

醇良清酒 白鶴
仁川本町三丁目 增本酒店 電話一〇九番 振替京城六一九番

京城本町三丁目
大日本陰陽學會朝鮮支部
大日本檢温製作 專賣特許山田式兼用吸入器發賣元
醫療器械商 山田六松京城出張所
主任 窪田廉
京城永樂町貳丁目貳拾四番地 電話一八一九番振替京城四〇一三番

易 人事百般鑑定需應す
鑑定料觀相五十錢當用易斷壹圓
鑑定時間 自午前九時 至午後十時
吉田學明



眼科專門
京城明治町東拓橫（電話二〇四四番）
江頭眼科醫院
日曜祭日午後二時迄

[illegible]週間以内に[illegible]通告者には五十錢書籍券を呈す（但何番何號と明記に限る）

合格品	甲[illegible] 二十二日 同 二十三日 同 二十四日 同 二十五日
合格品	乙 同 二十三日 同 二十四日 同 二十五日
次回の物は付[illegible]	同 二十四日 同 二十五日

氣象 京城測候所 [illegible]

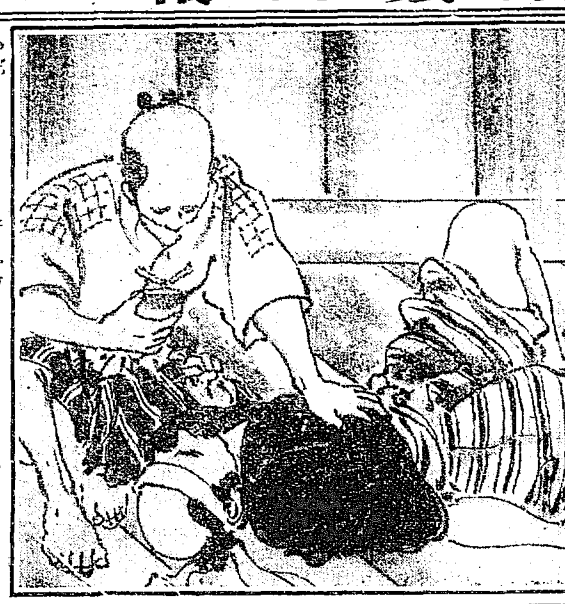
汽車

宮本武藏

第百九十回

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

二天は是を見て高一日向殿が怪我なさいされてはたらん、若し危き其時には飛込んで勘左衛門を一と當て當てくれんと身構へして居る災難なのは勘左衛門何方しても助からない内に打合とれつたが互ひに『秘術を盡す其有樣は電光石火の如く目にもとまらぬ早業、時に如何な機みか曉堅片膝を突いて『曉』『お胴』と一聲叫んで横に拂つた一本が勘左衛門の脾腹を打ちましたから堪りません、アッと云つて其處へ倒打れると、ウンと氣絶をしてしまつた、此の樣子を見て曉雲が『イヤ二天勘左衛門は參つたぞ、捉ると面倒だソレ逃げなさい』と其儘二人は表へ飛出してしまひました、跡では大勢の門弟○『ヤア大變だ、先生が眼を眩した、誰か活を入れる者は無いか』△『拙者が活を入れやう』○『早く入れなさい』△『誰か先生を起して押へて居なければ叶けない』と押へさして勘左衛門の脇腹へエイと一ツ鐵拳を固めて突いたが何の氣も無い○『何うしたんだね活が効かぬではないか』△『ハテナ、効なければならない譯だが、脇三枚目の活と、待て、あゝ叶けない、四枚目を突いたから、一寸違つたから効ない譯だ』○『危險な活だな』△『是は鐵拳では叶けないから棒で突いて見やう』と三尺棒を持つて來て横腹をコツ／＼突いたがそれでも叶けない』△『何うしやう、叶けないぜ』○『待ちなさい、眼を眩した時には灸に限るから灸をすゑて見やう』と其處へ艾を持出して勘左衛門を裸體にして臍の處へ艾を山の如くに積で火を附け澁團扇でバタ／＼煽ぎ始めたこれでは堪らない一面の火になると勘左衛門は熱いからウーンと動き出した、『しめた／＼、先生が動き出したぞ、もう少しだ』と煽いて居ると勘左衛門飛起た『勘』『あゝ熱い、オー痛い、コレ誰だ、俺に灸をすゑたのは』○『先生、貴下が眼を眩したので近藤が活を入れました處、見當違いをして些とも活が効きません、それから私が灸が宜いと思ひ灸をすゑたら先生が氣が附いたやうだ、何でも是から眼を眩したらば灸をする事に極めませう』勘『馬鹿を云へ灸をすゑると云つても大概程度のあるものだ、這麼に艾を山の如くに積んでする奴があるかオー熱いピリ／＼して叶けない這麼に脇腹が痛い譯は無いのだが何うしたのだらう』○『それは痛い譯で、鐵拳で突いても叶けないから棒が宜からうと云ふので三尺棒で先生の横腹へ挺を掛けましてから』勘『諂いことをする奴等だ、然て彼の二人は何うした』○『先生が仆れるのを見て捉ると面倒だソレ逃げると云つて表へ飛出してしまいましたが、イヤ其の早いこと風のやうでございました』勘『何に逃げてしまつた、何故逃した』○『何故逃したと被仰つて貴下さへ敵はぬもの吾々が何うなりませう』勘『イヤ殘念千萬、門弟衆』○『何で』勘『お前方俺に腕貸しをしてくれる樣』○『先生のことなれば何でもいたしませう、何をいたしますので』勘『皆此處へ來て俺の云ふことを聞いてくれ』○『ヘエ』勘『何を秘さう拙者は前年當所へ參つて赤川勘左衛門と名乘つて道場を開いて居るが、實を申せば肥後の國熊本の城下に町道場を開き西國にて麒麟と云はれたる佐々木鰕道齋岸柳の門人にて、大島直と申するが拙者の本名、恩師佐々木岸柳は巖流島に於て小笠原の家臣宮本武藏の爲に死を遂げた、其の宮本武藏といふは先刻道場へ參つた二天という奴、一人は確に水野日向守と見てとつた如何なる譯か知らんが彼奴等兩人、姿を變へて此の水澤へ參つたのであるか、是より彼奴等の跡を追覓けて先へ廻つて片山林に待受け彼の宮本二天を討取り師匠岸柳の無念を晴したいと存ずる、各々方拙者に助力いたしてくれる樣』聞いて一統の門弟は俄は呀に聞いたる宮本であつたるか、相手にとつて不足は無し然らば先へ廻つて彼等を討取りくれんと茲に門人十四五名宮本の後を追覓けまする。



外科一般 皮膚科 淋尿器科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會㐧
安部醫院
電話四一九番

齒科診療 橋本科齒醫院
南山町三丁目巴城館通電話二九二〇
齒科醫學士 橋本清次郎

京呉服 京都 永樂町二丁目 たまや出張店 電話一一九六

花柳病 皮膚病 須古醫院
京城府永樂町一商品陳列館通坂の上
電話二一〇二番

十月二十日九紫 舊九月廿四日庚寅 本命七赤 西 定 友引

●七赤● 喧嘩より喧嘩を生ぜんとす謹愼で新築旅行方位は吉 婚姻西 ▲八白● 親談の日轉居入學會社件名弘探職求職造船婚禮醫藥等吉 ▲九紫● 不穩至極の事有日新事手控なば吉一切の賭事を禁ず ▲一白● 程よき日轉居入學金件求職發井婚禮指南を求る等皆吉 ▲二黒● 安穩なる日轉居行商入學求職探職株組大なる金融等萬吉 ▲三碧● 角目たつ事有日新事手控諸事は吉向は爭を防がるべし ▲四緑● 不進不退の日なれども新事控日の方吉諸事隔然は妨なし ▲五黄● 損負深山の日轉居開業等皆吉殊に女子の獨立業を始るに妙也 ▲六白● 息込よき日轉居行商入學求職金談名弘株組遊洋出漁等皆吉

縮緬 兵兒帶 勿驚本物一筋タッタ貳圓
東京市日本橋區本石町一丁目縮緬問屋關谷商店にて賣出したる優美高尚の縮緬兵兒帶は品質極めて上等にして然も大巾一丈物先に七圓五十錢賣れの品タッタ四圓に八尺物四圓賣れの品タッタ二圓と云ふ未だ曾てなき法外の馬鹿値でブン投賣をなし且つ大賣出の紀念として特に大繪姿をなし美術を込めし西京西陣製の片側女帶地を兵兒帶一筋の注文毎に一筋宛の無代進呈をなすと云ふ因に希望者はハガキにて申込ば代金引替送料も實費で送る由

流經新藥レスノリ
月經 閉止經過四五ケ月以内ニ應用ノ目的作用ヲ遂ゲシム
其流經 賣ナルコト他藥ニ優越ス
藥價一瓶一圓送費内地十二錢海外卅錢 切手添申越進呈 切手一割増 説明書二
大阪北區曾根崎上一丁目三六地 發行所 常盤藥院 振替大阪二〇七〇

●マラリアに一番ヨクキククスリハ
龍山林藥房製劑のマラリア特効丸
藥價 金拾錢參拾錢五拾錢 郵稅貳錢 ●ニセモノアリ御注意●
本舖 龍山Ⓗ林藥房
代理店 京城本町一丁目 山岸天祐堂

肺病 肋膜炎 氣管支
には輕症三服重症五服にて効能ある良藥を郵券貳錢にて豫防法を併せ詳報す照會あれ治療法 名古屋市西區本町三丁目鈴木盛角堂

山田醫院 本町二丁目四十六 電話二八八〇番
內科 小兒科 花柳病 眼科 呼吸器病専門 胃腸病 (入院隨時) 山田萬作 尾形周太郎

酒 煙草 きらひになる藥
禁酒丸……禁煙液
どんな酒煙草のみでも害なく心から嫌いになる郵券二錢送れば説明書及大澤博士の禁酒論進呈 其他名士の
本舖 大阪市東區南通二 禁酒禁煙 森田商店

產婦人科
本院 京城旭町一丁目 電話二三四〇番 診察午後
分院 龍山漢江通(柳町) 電話一〇六番 診察午前
院主 衣笠茂 中央婦人病院

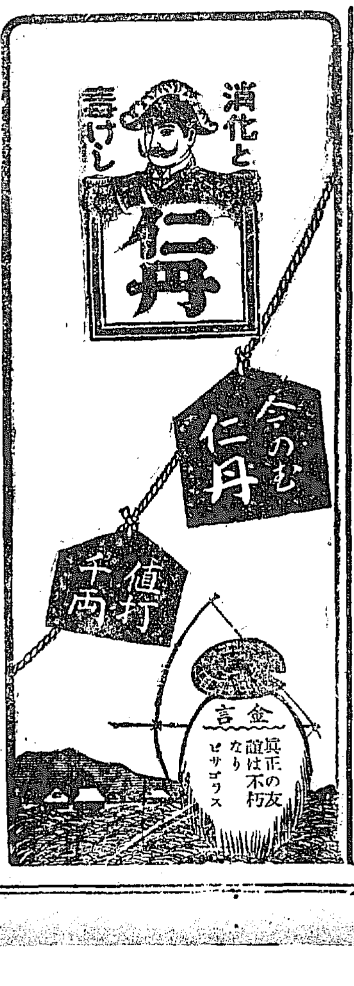
五龍背温泉 汽車新義州より廿分

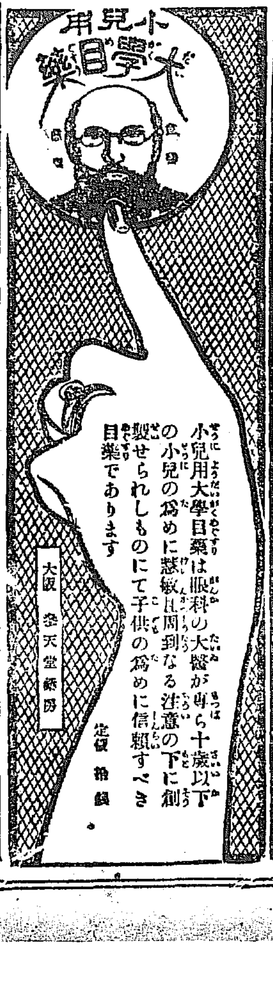
子宮病血の道とリウマチスに惱む人は

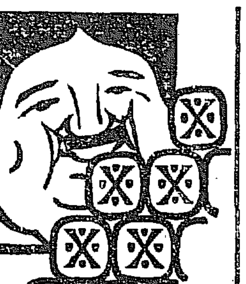
彼れ是と迷ふ無く眞に能く効く神疝湯を
即刻試みよ現に……
烈しき神經痛で惱みし人
頑る難治のリウマチスの人
數年固疾の疝氣で苦しみし人
百法効なき子宮病の婦人
常に悲しむ血の道の婦人
多年惱めるヒステリーの人
不治の慢性胃腸に惱めし人
などが此良藥神疝湯の連服で漸次快方に赴き遂にはスッカリ快癒し嬉さの餘り懇篤な證狀(一現在保存)を寄らるゝ實例も尠からず若不幸にも是等の病に惱む人あらば神疝湯は輕症と難症の論なく即刻試よ神疝湯は家方の良藥にして今や全國各藥店に有り

躰質改良劑

●こんな徴候の人
胸、腹、手、足、肩、脊、腰、膝、睾丸等つり、腫、しびれ又は筋張痛 ●彼處此處と移動し●何となく怠く ●腹張差込●腹なり胸つかゆ●溜飲 ●食進まず又は進過ぎ●便秘又は下痢●寒氣●逆上●血眼●目暈●耳鳴 ●頭痛●齒痛●頭重く肩凝●腹に力なく●腰足冷へ●夜眠られず●根氣薄らぎ記憶あしく●氣鬱●癇高ぶり●物事に感じ易く●顔手足の浮腫等 疝氣、リウマチス、神經痛、胃腸及子宮病、血の道より起る諸患に惱む人は片時も早く神疝湯を試みよ
價藥 半週卅五錢●一週六十錢●二週一圓十錢●三週一圓六十錢●五週二圓五十錢●十週五圓●試用分十錢●廿錢
本舖 名古屋市東區京町二丁目 藥種問屋 荒川長太郎 電話⊖千百二十七番 振替口座 東京二三四二一番 大阪二一九五番







攝津灘石崎釀
天高く氣清き中秋十月
新裝を凝したる
※さはのつるは
キビ／＼トシテドナタのお口にも合ひ云ふに云へぬ高尚な味は眞に
酒の中の米の飯!
家庭必備の良酒※澤之鶴!
※澤之鶴日光宮印米壽
特約店 京城本町一丁目 佐藤牧商店
電話二漢四江九番 佐藤牧支店 電話四二九番

惡疫豫防に 衞生口錠 カオール
病氣見舞の時 飲食の前後 人込群集の時等最も必要
本舖東京 安藤井筒堂

京城日報　第三版

十九日朝刊　夕刊と合せて八頁

本紙定價　一部金三錢五厘　一ヶ月金六拾錢　[illegible]
廣告料　▲五號活字一行金七拾錢　[illegible]
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
京城太平通一丁目　發行所　合資會社　京城日報社
電話番號　[illegible]　振替口座京城[illegible]

大阪三品特電　[illegible]
仁川米豆取引所　[illegible]
▲戻りは[illegible]し　[illegible]
▲後場の手振　[illegible]八千餘石[illegible]他は小口商內であつた
▲Ⓘ能く買ふ　[illegible]
▲今筋の買　後場同店より買たる玉數二千五百石に上りたりとの事[illegible]
十八日の十二月限　[illegible]

武官制度

京城日報

新領土植民地長官は、武官より擧ぐるの例甚だ多く、我日本帝國は長く此例に依る。或は是等長官は、文官制たらざるべからずと論ずるもなきにあらずと雖も、未だ其經驗を明かにせるものあらず。或は英國植民地長官の、文官又は民間政治家より出るもの多きを取りて、其說を爲すものなきにあらずと雖も、是れ全く其引例を誤れり。英國自治植民地は、其名のごとく自治制なり。植民地人民自ら其知事を選び、其議會議員を選びて、純乎たる自治制を行ふものたり。既に自治制を行ふ、其施政機關が武官制たるを得ざるは、寧ろ當然の事たり。

然れども、其英國すら重要なる領土に就て武人を擧げて長官たらしむるを務む。往年キチナー元帥を擧げて埃及統監たらしめ、其成績の甚だ文官制に優るものあるを悟るや、英國朝野に元帥を印度太守たらしむべしとの議あり。政府當局者の熟議せし此に傾きたる折柄、偶ま一昨年夏歐洲大戰役勃發し、元帥は埃及統監より轉じて大英帝國陸軍大臣となり、埃及統監の職は元帥の幕僚マクマホン大佐をして、之を繼承せしめたり。英國の武官制を贊成するもの、意見は、極めて單純且明白なり。其理由の第一に曰く、印度埃及等廣大且重要なる領土にありては、軍政は文治と相並びて其日常の要務たり。軍事を解し得ざるものをして、其長官たらしむべからずと。其理由の第二に曰く、新領土新附民は、其長官の閱歷勳業の盛を仰いで、其の威力に服す。閱歷勳業の普く知れわたり、其の威力の强大なる武官に若くはなきなり。其理由に曰く、其施政の嚴格と果斷とは、之を武人に求むるに若かずと。

我日本の政治家論客中、朝鮮臺灣關東諸長官を、文官制に改むべしと爲すものなきにあらず。併ながら之を諸領土統治の成績に稽ふるに其治績甚だ舉がり、其弊害は毫末も此に見出す能はず。又文官たらざるべからざる理由も亦具はらず、是れ近頃に及びて、其の嘗て文官制を呼號したるもの、亦鉾を收め復た言はざる所以にして、是れ畢竟日本自身の經驗に依りて之を悟り得たるのみならず、英吉利其他の成例に鑑みて其然る所以を檢證し得たるに是れ由る。且海外領土の統治方針は、一たび之を定むるときは、猥りに之を變更すべからず、特に一旦嚴格主義を取て、其規模を成したるの後遽に放任主義寛容主義を取るときは、人心狂鬨に流れ、橫逆制止すべからず。二たび嚴格主義に還らむとするも、其事甚だ難からざるべからず。埃及は固と嚴格主義を斷行せるところなり然るにゴルスト氏統監時代輕浮なる放任主義を取りたる爲めに、人民の驕慢日に增長し、遂に反抗騷擾を事とするに至り、英國政府則ちキチナー元師を擧げて其武斷政治を行はしむ。印度も亦一時放任自由の方針を取りて其人民を誤り、不穩難治の端を開きたり。爲政者深く此に鑑むるところなかるべからず。

朝鮮の古城郭(九)

八木奘三郎

(四)歷代城郭の變遷(承前)

(ヲ)三韓及び三國時代の城郭

(甲)三韓時代の城郭。三韓の記事は史記、漢書共に之を載せず、後漢書に至り始めて其大略を記せり、今其文を見るに、世人の已に知るが如く馬韓、辰韓、弁辰の三國を三韓と稱し、而して馬韓は西に在り、五十四國を有す、北は樂浪と、南は倭國に接すと云ひ、又辰韓は東に在り、十有二國、其北は濊貊と接す、弁辰は辰韓の南に在り、亦十有二國、其南は倭と接す、凡そ七十八國、伯濟は是れ其一國なり、大なるものは萬餘戸、小なるものは數千家、各山海の間に在り、地合して方四千餘里、東西海を以て限りとなす、皆な古への辰國なり、馬韓は最大、共に其種を立てゝ辰王となす、目支國に都し、盡く三韓の地に王たり、其諸國の先は皆な是れ馬韓人種云々と言へり此文中に『皆古之辰國也』と云ふ語あるを以て、三韓は始め一の辰國あり後分岐して三韓となれりと說く人あり、又是等韓種の民族を貊種なりと論ずる學者あり、其可否は別として上代韓族蟠據の地は必ずしも半島の東南部に限らず、現今の漢江以南は總て彼等民族の住居地なりと說くと一般の通論なるが如し、去れば三韓時代に城郭ありとせば勢ひ右の範圍內に分布し居る譯なれども同じ後漢書には其馬韓の條に『邑落雜居亦無城郭』と記せり、而して辰韓の條には『有城柵屋室』と云ひ、又弁辰の條には『弁辰與辰韓雜居、城郭衣服皆同』と記せり、之に據れば三韓中、其城郭を築造せしは辰弁二國に限りて馬韓は之を設けざりし譯なるか、同書には前節已に述ぶるが如く箕準數千人を率ゐて馬韓に入り其國に王たりと云へば元來は辰弁二國に先つて此風彼地に起る可き筈なり、然るに事實上之に反するが如く記述せしは甚だ不審なり、世には凡ての事物が大抵諸民族間に偶然發生するが如く考ふる人あれ共、斯は大なる誤認にして、多くは相互の混淆結果に出でゝ殊に文明國の興起する場合は、其の藝術の他へ流傳すること宛も水の低きに就くが如き狀勢を呈するものなり、此の實況は古今の土俗志を通覽せば自づから釋然たらんが、要するに吾人の所謂城郭なるものは彼の世界の諸民族間に偶發す可き性質の物にあらず必ずや支那文明の影響、感化に出しならんが、其もの漢族の多く移住せし馬韓の地に行はれずして、遙か遠隔なる東西端一隅に偏せし辰弁地方に存在せしは解し得ざる點あり、勿論右は支那式の城にあらず、單にアイヌ間に行はるゝチヤシコツ即ち『トリデ』の類ならんと說く人なしとせざれども、アイヌのチヤシは蝦族間の異例にして、是亦日本古城郭の流傳模倣と見る方適當なれば、以て論據とするに足らず、又弁辰の城は無論微小の作なりしならんも、既に馬韓になしと云ひて、殊更二國に在りと云ふは多少其形式、大小、構造等が城郭として見らる可きものならざる可からず、

內鮮人の同化(三)

新日本魂を作れ(續)

高養駿(寄)

物質的富力に於ては顯著なる增進を見るを得可しと雖も、若し精神的に於いて眞に日本國民たるものあるにあらずんば何ぞ國家に益するものあらんや、吾人は物質的恩與に於ても之を感謝す、然れども精神的恩與は更に其の切實なるを感せざるを得ず抑も鹽は物質の創造なり即ち生命なり、此生命力たる日本魂を鮮人と附與するに非ずむば幾多の物質的恩與も其效や殆ど空しかる可し、但し我に吾人が最も感泣崇離に堪へざるは李王世子殿下と梨本宮妃殿下との御婚約を結ばせられたることこれなり是は實に鮮人同化上此上なき一大慶事たらずんばあらず、斯の如きは申も畏きことながら我皇室が如何に鮮人を愛でさせ給ひ如何に鮮民を御同仁視せさせ給ふかを事實の上に示し給へる所にして誠に前古未曾有の異例なり、鮮人たるもの何ぞ陛下の宏大なる大聖旨に感泣せざるを得んや、今後は更に貴族間にも將た平民間にも內鮮人相互の婚約益々盛に取り結ばれん事を希望す內鮮人の先覺者は宜しく此際御聖旨の存するところを周知せしめ以て益々國民の同化上に貢せられんことを望む

次ぎに吾人は朝鮮人に對して一言告せざるべからざることあり。須らく諸氏は猜疑心を除去せよ而して進取的なる可く積極的ならざる可らず由來鮮人は猜疑心に富む、這は歷史上然るべき理由ありたる國民性質にして昔日に於ては一槪に之を排するの無理なる事情ありしも今日に於ては既に內鮮人一體なるを以て鮮人は嘗に同化上の問題にのみ止らず鮮人自身に在りても亦滅亡を招くの因たらずんばあらず、人を見れば敵と思へとの思想は極めて未開時代の偏狹思想にして、是ある限りは常に疑心暗鬼を生じ萬事に對して消極的退嬰的ならざるを得ず、蓋し人を疑ふものは、自己をも信せざるものなり、自信ある人は必らず能人を信ず自からを信じ人を能く信ずるものは進取的なり、積極的なり、前途の光明燦々たるものあらん、諸子は今や晉時の鮮人にあらず、日本の國民なり、然り新日本の國民なり、同國民たる以上は共に共利害休戚を同ず何ぞ猜疑を挾むの餘地あらんや、畏くも我陛下の鮮人に對する御思召は前段詳述せるが如く皇族方々の御婚約に照しても日月と共に昭々乎たり他は推して知るべきにあらずや。

黃海道を縫うて(七)

財の子生

△此邊は田が有利　信川から先きもまた可なり平野が續いてゐた畓には稻が稔つて美しい金色の波を湛だせ田には大豆や蕎麥が熟し切つて收穫を待つてゐる。粟や黍は大底刈り取られてゐたけれども蓖麻子には未だ手が着いて居ない、此の蓖麻子は從來髮油を採る爲め一部の地方に栽培されたものであるが特製すれば立派な藥用の蓖麻子油となる。之れが栽培は手數のかゝらぬ上相當の價格があるので沿道の空地には隨所に植ゑ付けられてゐた。其の莖はアカザに似、葉は八つ手形で毬のある白つぽい實を著けてゐるがヒヨロ〳〵突つ立つてゐる處は一寸俳味がある、赤い蜻蛉でも止まつてゐたら一層妙だと思つたけれど畔際には蜻蛉を見受けなかつた、然し畑中から突如として雉が飛び出したり、行く手に可愛い鵲が出て來て眞圓い目で以て我々の過ぎ去る樣を眺めてゐるなどは常の事で、ライ道中も中々野趣は充分味ふことが出來た。此の邊は平野に拘はず畓よりも田が多いので彷徨ては畓よりも田の方が却つて割がよいと思つてゐたが聞けば地主としては普通毎三割位に廻るそうである

△地方狀況と民風　續いて山が迫ると道路の勾配は遽かに急を告げて車夫の足は益々緩慢になつた。斯んな奧地でも昔しは隨分荒したものと見へて山には殆んど木らしい木がなく、谷には河らしい川がない。但し殖林事業も着々歩を進めて兎にも角にも禿を脫しかけて來たから何時かは京城附近に見る樣な溪を容づくつて遊子の眼を樂ましめる樣になるであらう。殷栗や長連方面は近來餘程民心が荒つて來たが被害から信川附近は往時兇徒の巢窟だつた丈けあつて一般の人氣を他地方に比べると今に面白からぬ方ださうであるそれかあらぬか此の邊は馬鹿に酒幕が多い。山といはず野といはず沿道には五步に十步に大抵飲食店がある。斯んな淋しい街道に斯く飲食店の多いといふことは此の邊の人民に飲むだくれが多く界隈を來往する人間に放埒者が少からぬを證するもので眞面目な旅客に取つては甚だ不愉快である

△飲食店と朝鮮馬　鮮內には如何も此の飲食店が多い樣だが本道內には殊に夫れが夥しく松禾から殷栗、殷栗から長連と到る所沿道に建つた民家は大抵此の飲食店業者である。處が更に旅客に不快を感せしめるのは馬で旅行をすると馬の奴が飲食店前で屹度立ち止まることである。开して己が嘗て秣はれた店だと知ると打つても叩いても却々動かず喉を鳴らし鼻を鑑かして頻りに秣を請求する。自分が馬に乘つたのは唯だ一日丈けで十里の間を行つたに過ぎぬけれども之れにはホト〴〵閉口した。

修養訓話 成功
地方青年團、地方教育會、學校及其他の團體にて多數の御注文は割引す
百五十頁美本定價廿五錢送料四錢
本書は失敗と成功を巧に比較研究し完全なる成功法を講述せり
購讀者には懸賞貯蓄奬勵法あり
發賣所 東京神田錦町一丁目 松山堂
發行 振替東京二〇四二 京橋北隆館 日本橋大洋堂 文館 同富之研究社

改訂 擔保物權法
東京法科大學教授法學士 三潴信三先生著
新刊 第一冊 物權總論、所有權、地上權、永小作權、地役權、占有權、總目次 出づ(第二冊)
本書は著者が東京帝國大學其他に於て爲したる講義の要項を採錄したるものにして從來の所謂講義案と異り本書に依りて容易に物權の智識を得べし
菊判六百六十餘頁 第一冊正價金七拾錢 送料金八錢
○菊判上製金一冊 正價金貳圓七拾錢 送料內地金十二錢
本書は民法中最も疑難多き留置權以下擔保物權に就て頗る詳密に釋明して我民法の規定に付精細なる解釋論と立法論とを試みたるものにして今回再版に際し更に幾多の增補を爲し左欄外に條文索引を加へ以て讀者の便に備へたり
物權法提要
有斐閣 東京神田 振替東京三七〇

實業之日本 (エフイシエント ライフ) 有効生活 秋季增刊
有効生活論 增田社長
有効隨筆 生活の泉 新渡戶博士
有効讀書法 浮田博士
□有効なる膽力練成法……遠藤博士
□有効なる日々修養法
富の蓄積及び運用法
△富の蓄積及利殖三眼目……都倉主筆
△有効なる貯蓄の大秘訣……安田翁
△有効なる土地家屋投資……田中頭取
△有効なる財產增殖法……尾張屋
△有効なる小資本運用法……伊藤幹一
△有効なる證券投資法……行常務
△赤裸一貫の人へ……森村男爵
△有効なる株式投資……中野武營
△土地投資の成功者物語り
△一株が五千株になつた大株主
△非有効の鈴久將軍波瀾物語
有効健康法
□有効なる腦力增進法……佐野醫博士
□有効滋養食品選擇法……澤村農博士
□有効なる胃腸健康法……南醫博士
□有効なる日々健全法……緒田醫學士
□有効なる性慾抑制法……大澤醫博士
有効社交法
□有効なる應對法……澁澤男爵
□有効なる談話法……米山梅吉
□有効なる社交法……根岸錬次郎
有効實驗 生活 仲小路廉
通常號倍冊に付廿六錢郵稅二錢
東京京橋 實業之日本社 振替三二六

改版增補 機關車
前鐵道院技師 日本車輛會社技師長 野上八重治氏著
全編十五編六十七章より成り設計作業上の活顧問として既に斯界の定評の存するもの再版持價部數限りあり乞ふ至急申込あれ(內容目次送呈)
紙數插圖美四百四十五十頁 特價金貳圓五拾錢 郵稅金十二錢
江浪工學士閱 今井芳麿氏著
機關車名稱鑑
第四版發賣 價金五十錢 郵稅十二錢
發兌 東京神田表神保町 工學書院 振替東一三九二〇 京城振替二五七三 大阪屋號

朝鮮特產
秋の家庭には唯一の精力增進劑
純人蔘精腦を必要とす
定價 三十日分 七十錢 六十日分 一圓四十錢 九十日分 二圓五十錢
本劑の奏效絕對に確實なるを普及する爲
當分定價の二割引を以て提供す
京城府長谷川町五八番地 朝鮮製藥專賣所
電話一三〇九・振替口座京城三八一〇番

侯爵大隈重信閣下序文
前國務大臣公爵李家駒閣下題字
子爵清浦奎吾閣下有効證明
本誌主幹永瀧久吉閣下有効證明
東京電氣治療法研究會發行
完全醫效 電氣療法新編 一冊
素人患者 電氣療治の手引 一冊
自宅療法 電氣治療器械
[illegible]
東京市神田區一ツ橋通町二十一番地 東京電氣治療法研究會販賣部
電話本局一五四七 振替口座東京八一三四
●難病に苦める人、生殖器無能の人は速に電氣治療を試みよ
●本會の研究は日進日新、今や全く完全無缺の域に達せり

稻扱機
籾摺機
(御希望の品御照會を乞ふ)
▼手押用動力用 ポンプ
▼無煙安全 風呂釜
▼消火器、噴霧器
▼繭乾燥裝置
▼濾過機
▼無煙ストーブ
東京市京橋區宗十郎町十一番地 東工業商會

秋冬服地新荷着
セビロ三ツ揃、オーバコート、インバネス
金十六圓均一
金十八圓均一
金二十圓均一
金廿二圓均一
柄の新しい氣の利いた高價の品澤山荷着價は安くてスタイルの良い御の我儘
東京麴町區山元町四丁目角電話番町一〇四一四六六番
地方郵券十錢添へ概略服種類直段等御申越次第見本及寸法用紙御送附す
關根商會 高等洋服店

銀行會社官吏鐵道員養成講義錄
速成四ヶ月卒業會費二圓八拾錢校則進呈東京芝公園大日本國民通信學校
卒業者は各自希望通東京は勿論全國へ直に就職せしむ

◎外交總長は伍廷芳か

既電の如く、衆議院は十八日汪大燮の外交總長案を否決せるが同總長には伍廷芳指名せられんとの噂あり（北京特電）

◎救濟品供給失敗

ロングブランチ來電＝ウイルソン大統領は、波蘭を救濟する目的を以て送らるゝ供給物の輸送に對し交戰國双方の同意を得んとせる努力が遂に失敗に歸せる事を發表せり交渉不調の原因に就ては何等論議する所無きも中央列强（獨墺）が特に非戰鬪員の用に供する物品の輸送を拒絶せるに依る事明かなり（倫敦電報）

◎墨西哥の議會召集

墨西哥は豫定の如く十五日上下兩院議員選擧を各州共に執行し政府は十一月二十日ケレタロに議會を召集する旨發表せり（桑港電報）

◎航米獨潜艇の歸國

華盛頓來電＝官邊の信ずる所に依ればユー五十三號は目下歸國の途にあり獨逸海軍省の意思は不意に潜航艇襲擊を行ふにあるもの丶如く其發潜航艇は必要品を補充する爲め歸國するもの丶如し（倫敦電報）

◎獨軍羅軍を攻擊す

英軍はアンクル河北方に進出せりヒンデンブルグ將軍は羅馬尼の西北部六十哩の戰線に於て羅軍を攻擊中なり又獨軍はカルパト山中に於て露軍が羅軍と合體すべきを防止せん爲め切りに攻勢を執り居れり（倫敦電報）

◎露、墺方面敵襲擊退

露都來電＝敵は最も猛烈なる砲擊を行ひし後レンベルグの東北カーバシャンス及びブコヴイナ國境に於て激烈なる襲擊を行ひつゝあり今日迄の所總ての攻擊は擊退せられたり（倫敦電報）

◎新舊總督事務引繼

十八日朝鮮總督府出張所に於て事務の引繼ぎ行はれたるが寺内前總督と長谷川新總督との引繼は十九日行はるべし（東京特電）

◎本野子御暇乞

本野子爵は丸毛臨時大使に事務引繼を了したるに依り御暇乞の爲め不日野戰大本營に赴き露國皇帝陛下に謁見仰付らる可く皇后陛下にはツアルスコエ、セロ宮殿に皇太后陛下にはキエフ宮殿に於て各々子爵夫妻を御引見あらせらる可しと（露都電報）

□皇儲御陞進

東宮殿下には來る三十一日停年に達せらるゝに付き陸海軍大尉に御陞進の筈なるも或は特に立太子式當日御陞進の事と相成るやも測られずと拜承す（東京特電）

◎本野大使歸期

外務大臣たるべき本野駐露大使は二十四日露都發十一月五日著京の豫定なり（東京特電）

◎大阪だより

▲大阪梅田驛の貨物山積し西部管理局は十三日より十七日迄到着貨物を［illegible］にありといふ、現に角國鐵の幹線が敷きて精錬業の競爭を初めたるより小資本の精錬業者は之が爲めに壓迫せられつゝありと
▲三十四銀行頭取小山健三氏夫人［illegible］
▲四日市のペストの病因たる呂宋丸積荷の棉花の大阪に陸揚せられたるもの尠なからず萬一を虞れ大阪の當［illegible］右の制限をなし設備の不足を築港せるもの之を删ふ可し［illegible］もの尠なからず［illegible］

◎哈爾賓米業者の請願

滿洲に於ては各省令を以て防穀令を施行し南滿鐵道經由の朝鮮產米は如何なる證明と手續を盡すも絶對に露支國境を通過せしむること不可能事と成りしは本紙記載の如し然るに北滿哈爾賓在留米穀取扱業者は之れに對し防穀令は各省内に於ける產穀の省外輸出を禁じたるものにして其の累を朝鮮產米に及し他國の貿易に障碍を生せしむる如きは省令の趣旨にあらざるべく協約新たに成り日露の國交益々親善を加へ彼我の貿易相進み殊に朝鮮產米の軍用若くは一般露人に需用せらるゝもの異常に增加し輸送上の捷路として南滿鐵道を經由するもの漸く多きを見むとする今日斯る阻害を生じつゝあるは甚だ遺憾とする所にして之れ恐く省令の眞意を了得せざる當路者が過つて法を濫用するにあらざるやを疑ひ竊かに之を攻究して此支障を除去し我が貿易の機運を充分に進展せしめむとの主旨を以て此程同業者十四名連署の下に陳情書を外務大臣宛送達したり其の理由に曰はく抑々朝鮮產米を歐露に輸送するに當りては浦鹽を經由するとするも同港より東淸鐵道に倚りて哈爾賓を通過し他線より輸送するものにあらず、然るに同一線路の輸送に對して一は之を防止し一は之れを通過せしむる兩樣の取扱ひあるは公平を得ざるものと云ふ可く、殊に其沿線に於ける商業經濟の根源たる輸送經費と時間を對照すれば南滿線經由のものを阻止せるもの丶不利益なること頗る甚大なり今之を略叙せんに

▲浦鹽經由　朝鮮鐵道は元山より元山に搬出し同港より海路浦鹽へ陸揚げなし東淸鐵道により哈爾賓着（若くは哈爾賓通過歐露に向け）は各地共故障なく運ぶとするも七日間を要し其運賃は一石に付金三圓十錢餘を要す

▲南滿線經由　鮮鐵、滿鐵の各線連絡線を故障なく運ぶとするも哈爾賓着には三日間を要し（鮮内產地より長春迄二日間東淸線積替ハルビン著一日計三日間）一石に付金二圓五十錢を要す

加之目下に輸入する米穀も現に貨物停滯山積せる爲め貨車の配給至難にして往々取引完了の期間に支障多からしむるは眼前の事實なるを以て浦鹽南滿の兩線より輸入の法を採ることを全體の貿易上に最も必要なるべきを信ず固より這は支那側の必要より施行せられたる各省防穀令の解禁を望むにあらざるも少くも今後通過貨物としての支那國境に於る取扱を改善し朝鮮產米たるを確證する限り南滿線を經出するものに在りても亦哈爾賓を通過して露國の輸出に支障なき樣御詮議相成り度し云々而して同業は之れと同時に東淸鐵道長官に宛てまた主旨の陳情書を提出したり

哈爾賓現在の日支鮮人は其の數約八萬に達し北滿の國境に散在せる總人口は約二百萬に及べりと聞く、此内日本人の全數及び鮮支人の大半は朝鮮產米を以て主食物となす西歐の戰亂に聯りて軍需品の海陸輸送は一般貨物の運搬上に甚大なる影響を及ぼせしは内外同一事なるも就中東淸鐵道を以て其最たるものと謂ふ可し然るに浦鹽及び寬城子は貨物山積して貨車の配給上甚だ困難なるは吾人の素より諒とする處なるも我々日常缺くべからざる唯一の糧食品たる米穀の停滯及び運輸の杜絶が近來頻々として相踵くに至れるは轉た寒心に堪へざる次第にして其業にあるもの丶損害苦痛亦甚だ不尠

▲麥粉及び米穀　麥粉は歐人の日常必須なる食料原料なるか如く米穀も亦日支鮮人の常食たるが故に米穀も麥粉に於けると同樣、特別輸送規定に均霑すること

▲輸送量三千布度　［illegible］を主食となす人員を假りに總人口の四分の一弱即ち五十萬人とし一日一人の米食量を半フントに見積るも（日本人は一日一人の米食量一フントを要す）一日の總額は實に一萬二千五百布度を要す可きも寬城子哈爾賓間に於ける米穀の輸送量を一日約三千布度とし即ち三貨車の配給を求む

▲輸送上嚴格取締　近時米穀の亂投を多［illegible］くも殆んど常態［illegible］我々米穀商なるを以て營業利益の最も僅少なる一パーセント以上に相當すること［illegible］たるもの、損害甚大なり故に寬城子、哈爾賓の兩驛に於ける米穀の積卸及び保管中嚴重なる取締の方法を講ぜられ輸送上の取扱に關し特に嚴重なる御取締を相願度候事

◎長官後任銓衡

石塚農商工部長官の東洋拓殖會社總裁たる事は既定の事實にして長官の缺に依るも其の發表近きにあるが如し而して長官の後任は目下首相及び新總督に於て詮衡中に屬し其の發表までには尙ほ若干の時日を要すべしと聞く

◎市場取引好況

▲價額と種類　總督府最近の調査に依るに昨年末に於ける市場總數一千五百十一個に對し同年内の取引高四千三百五十六萬六千五百三十九圓を算せるが、其の内最も多きは農產物にして賣買高一千五百十六萬四千七百七十三圓に達し總賣買高の約三割五分を占む、此に次ぐは畜類にして其の額九百七十七萬七千七百九十圓を示し其の他織物は五百九十三萬四千四百二十六圓、水產物は五百六十二萬五千五百十四圓、雜品は七百六萬四千七十六圓なり。

▲前年と比較　而して之れを前年と比較するに市場總數に於ては三十二箇所を減じ、又た賣買高は農產物に於て二十三萬三千四百三十五圓、畜類に於て二十二萬三千七百五十八圓、雜品に於て六萬四千八百十七圓の何れも增加を見、水產物に在りては二十八萬七千百七十七圓、織物に在りては八萬二千四百六十四圓の共に減少を告げたるに依り差引十五萬三百六十九圓の增加を示せり

▲取引の狀況　尙ほ市場取引の概況を見るに大正四年中に於ては米價の暴落並に北鮮地方に水害ありたる等の原因に由り一般農民は購買力減退の傾向あり、市場取引に及ぼしたる影響亦尠からざるものありしが畜類の如きは牛皮の需要多かりし爲め前年に比し賣買高は却つて增加を告げ又た農產物の如きも價格下落の爲め其の數量增加の割合に比し金額の之れに伴はず一般の取引不振の觀を免れざりしも年末に至りて米穀の移出好況を呈し取引俄に旺盛を極めたる結果、之れを通じて前年に比し如上の好成績を得たり

▲道別取引高　今其の取引高を各道別に示せば左の如し

道別	市場數	取引日數	賣買高
京畿道	一三五所	三、七三一日	七、四〇六、九〇八
忠淸北道	五一	三、四二一	一、九七七、〇九八
忠淸南道	六三	六、五三〇	四、四三〇、三三四
全羅北道	七一	四、九九九	二、〇四四、四四八
全羅南道	一三五	八、〇〇四	二、三三一、九九九
慶尙北道	一七七	一〇、八一九	四、九九八、七四五
慶尙南道	一四九	一〇、七六五	七、二八〇、一三〇
黃海道	一〇三	七、四〇〇	三、一四三、三六六
平安南道	一〇四	七、三三〇	二、九七五、七四〇
平安北道	八六	四、四三五	三、三〇一、三八一
江原道	六三	四、三六九	一、九〇三、三〇三
咸鏡南道	九九	五、八九一	一、六七六、三〇一
咸鏡北道	七七	二、〇三三	［illegible］
合計	一、三二一	九三、八五一	四三、五六六、五三九
三年中	一、三四三	九三、一七〇	四三、四一六、一七〇

◎地方經濟狀況（十一）

仁川商業會議所調査

京畿道烏山地方

▲稻作　本郡は所謂振威川の上流域にして而も立國の點在する外地勢平坦にして地味肥沃なる爲郡内の平地は［illegible］以外なれば雨水に依る灌漑を主とし從て降雨の多寡に依り［illegible］月下旬に入りて［illegible］雨の多量と天候［illegible］ならず稻熱病に罹されたる［illegible］不良なる［illegible］して本年は昨年に比し收穫に二割の增收を豫想せらる

▲麥作　播種後適順の降雨ありて發芽を助長せしめ生育良好のまゝ開花せるが偶々連日の降雨に會し結實不充分なるに加へ更に收穫の期に於ける降雨のため昨年に比し三割強減の收穫を見たり

▲大豆作　降雨多量の爲め發芽充分なりしが開花後雨量過度にして徒らに莖葉の成育をのみ見るに及び幾分惡濕しつゝありしも八月に入りて天候良好なるため稍恢復し得て昨年に比し一割方增收の見込なり

▲雜穀　播種以來兎角降雨過量にして發育期の不良なるのみならず一部の如き發芽の儘腐朽せるものある等生育甚だ不良にして各品共通し昨年に比し三割方減收の豫想なり

烏山本年の收穫豫想高
米　四萬八千石　大豆　一萬七千石
花子　千二百石

▲主要物資集散狀態　當地方も土地膏腴にして米を主として改良種の植付を行ひ居れる等により生產米品質優良なるため地方市場に於ける取引良好なり而して當地は大地主として東拓會社東山農場國武農場等の出張所ある爲め其の生產額の大部は北部大地主の手に依り［illegible］

京畿道水原郡

▲稻作　本郡は地味肥沃にして發穗なる［illegible］して良く［illegible］產物に適す本年の稻作は六月末迄に於て大部の植付を了したるが［illegible］河水氾濫し當面の［illegible］の爲め［illegible］被害を蒙れる［illegible］と共に適宜の處置を施したるため他に比し［illegible］遲延の感ある外實際［illegible］

入りたる折柄九月に入り連日の降雨は又も河川溢水し泥濘の厄に遭遇し共面積八千二百五十町歩を算せり然しながら此の被害は開花結實期を經過し居りしため分蘖狀態に於て幾分其の步合を減ぜるの外程度大ならず且度天候適順にして成熟佳良なり又た降雨を利用して植付を了し爾後再度の大雨に會せるも浸水等の憂なく堅ろ水稻に於ては例年以上良好なる生育狀を呈し居れり概して本年は如上の如く比較的生育良好なるを以て昨年に比し二萬五千餘石の增收と豫想せらる

▲麥作　播種後發芽狀態良好なりしが出穗期に於ける過度の降雨により幾分成熟を阻害せられ且つ收穫前後に於て再度大雨に出合せるため收穫の氣味を呈し昨年に比し二割方減收也

▲主要物資集散狀態及び相場　當地方の［illegible］

▲金融及び經濟狀態　本地方は金融機關の數少く［illegible］

◎李埈公午餐會

李埈公殿下は十八日午後零時自邸に於て午餐會を開き山縣政務總監遠藤秘書官藤波通譯官を招待せり

哈爾賓より

——第五信——　翠花

新羅萬象總て絶對にして赤裸々なれども、人に愛憎好惡の念あり、六情五慾の動く限り、表裏、縱横、冷熱の歡び傷さ映射して徒らに千差萬別し社會の事物こゝに複雜す。

我等が鮮露貿易の視察を爲すに當りても哈爾賓や、滿洲里や、イルクーツクや、觀るもの丶觀るに任じ、察するもの丶察するに委せて一切の偏頗秘藏なく公明至純なりと雖も、其觀察眼は萬人萬樣なるべし、哈市の商況、市情を在任諸君に聞ふにつけても、甲説乙評昇揚し、内論丁議錯綜して必ずしも一致せざるもの少からず、悉く之を信ぜば喜憂交々臻り、悲觀と樂觀と軒を連ねて輟轢すべし、然れども熟ら慮みるに其見解の樣々なるは各利害關係ありて立つところ掌る所の異れるに由り、千態萬狀こそ即ち眞相中の眞なるものなるべし、一商品の販路に就てすらA B兩氏の所見に親粗あるはそこに乘ずべき利益の潜むを認むべく、張李二姓が矛盾の感想を抱くは道裏に懇摯の護林あるを察すべし、以て我が朝鮮貿易業家が手に唾して溺を此地に弟ふべき風强の機運あり。

本來成敗は我を離れて人にあらず、天地萬物我に依りて生じ、四時我に因りて運行するは開闢以前よりの沙汰にして自奮する所に青山あり、水中に沒頭して渴を叫ぶの徒より見れば人間萬事駄目ならぬはなし、猥りに突飛ろの固より深く警むべきも鮮露貿易は陣容を整へ驀進すべき機運の熟せるを認む、而して先づ矛嚮を樹つべき刻下の中樞地は何としても哈爾賓たること明瞭なり（十二日）

人事

▲松木中佐　十八日夜入京旦城館へ▲柴田二等主計正▲淺倉一等軍醫　同上
▲有川亨氏（全南小鹿島慈惠醫院長）　十七日夜入京原金へ
▲宮川五郎三郎氏（平壤電氣會社長）　入京中の處十七日朝退京
▲松田義雄氏（鮮銀大邱支店長）　同上
▲藤田臣直氏（鮮南子會社重役）　入京中の處十八日朝退京
▲兵東振親奏團　同上
▲御木本幸吉氏（眞珠商）　入京中の處十八日夜退京
▲井上金吾氏（日本中學校教師）　十八日夜入京浦尾へ

ロロ甲子乙語ロロ

新永田警保局長は新派の俳人で榮峙當日益慰家の香峰庵氏がお祝の電報を送ると直ぐ電報で一句を送つて▲秋風や手にへばりつく握り飯』とやつた▲其れと同時に他より來た祝電に對して『運の實の飛ぶと見て心定まりぬ』と答へた相な▲此の句は何うも子規の『運の實の飛ばずに死んだ石もあり』に基いたものであらうとの評判▲東郷元帥の鴫筆が上手で盛に書き飛ばしてる男がある▲元帥は苦心の結果ヤット其の男を搜し出し或夜招待して大に御馳走をして下さると云ふ話だ▲『貴下は盛に私の代筆をして下さる好い既に私が本人の私よりはズット好い出來で一二枚拜見したが大層よい出來で滿足に思つて居る▲而し代筆とある上は本人の私から賴んだ時丈けにして下さい若し唯今書いたのがあらば相當のお禮をするから全部私に讓て戴きたい』▲元帥の此の一言からバッタリ偽筆がなくなつた相である▲矢ッ張り東郷元帥は豪い處がある▲新内閣の親任式のあつた前晩後藤男の近所の名刺屋に『内務大臣男爵後藤新平』の名刺を百枚至急刷つて呉れと賴んだ男がある▲而して『二枚は至急に要るんだから殘り九十八枚は明日朝受取て宜敷から其れ丈けは一緒に邸に持つて來て呉れろやうに』と云ふ注文▲翌朝賴まれた通り殘部を後藤邸に持つて行くとそんな物は賴んだ事はないと云ふ挨拶▲其の二枚の名刺が何處でどんな役目をして居るのか分らぬが今に氏名詐稱の尻は持つて來ないと後藤邸では大笑をして居る相な

◎伊太利軍の猛擊

墺太利軍戰線より出でたるツーリヒ來電に曰く、二十六萬の伊太利軍は七十二時間間斷なくカルソを攻擊せり又伊太利軍は大砲一千門を以て十一日間猛烈に間斷なく墺軍陣地を砲擊せり伊軍の夜襲隊は大密集隊の編成を以て前進し絶へず雪崩を打つて墺軍陣地に殺到し機關銃隊及び砲兵隊之に續けり（紐育電報）

◎雅典に暴動勃發？

雅典來電に曰く海軍陸戰隊は雅典市に向つて急行せるが同市に暴動勃發の兆あるが爲めなり（倫敦電報）

増見込し銀塊商況を以て大連市況甚だ強硬にて神戸エフオービー十八圓五十錢見當となり米國相場十七圓二三十錢に於て一圓二三十錢方［illegible］
二大油戰を演出すべく豫想せられつゝありて三井物產鈴木商店小寺等巳に大手筋に於て殆んど買淺へられたり（大阪支局發）
八隻愛媛縣三隻群山十五隻計三十五隻漁撈日數十日間に於て漁獲高は鯛九千四百五十尾價格二千二百七十五圓平均六十五圓に當り前年同［illegible］六十六貫價格百二十八圓にして此れ復昨年同月に比し不成績に終り鮮人エビ從漁船は全北二十隻漁撈日數十二日間にしてエビ四百貫價格三百［illegible］日數八日間にしてスキ一千二百尾價格二百四十圓一隻平均三十圓の漁獲ありて此れ復昨年同月と大差なく鮮人石首魚一本釣漁船は全北七十隻［illegible］

昨冬國民新聞創刊二十五年記念として刊行致候『蘇峰文選』は幸に江湖の大好評を博し本年一月中の特賣期間に於て無慮一萬部以上を賣盡し爾後固く定價に準し販賣致し來り候處新秋讀書の好季節に際し諸方面の熱切なる懇望に從ひ旁々豫ての御厚情に酬ひ度『世界の變局』と併せて左記特價を以て發賣致候間此の機を逸せず至急御注文を乞ふ

蘇峰文選　定價金參圓五拾錢　特價金貳圓八拾錢　壹萬部限　郵税廿四錢

蘇峰德富猪一郎著　世界の變局　定價武圓五拾錢　特價金貳圓　郵税十八錢　五千部限　豫定部數に逹すれば直ちに特賣停止

新刊廣告　放浪漫記　本派本願寺前法主大谷光瑞師著　定價金參圓　背像眞筆地圖挿入　和裝絹表紙　郵税貳拾錢
朝鮮、支那、印度各地の旅行記にして其世界的快男兒の世界的快著也、其文筆の妙は文章に從事する者をして斷絶せしめ、其の識見の該博なる所謂死學者を愧死せしむ、其の隨筆と漫筆とは『却走せし』可し『閑餘』は旅行記以外の瑣々とした所謂『夏の鍼』たる所なり、本文と對照して一般の趣味を添ふる寫眞は、著者の實地に臨んで撮影するの精采を放てり

國民新聞社編輯（製本出來）　大正六年　國民日記　定價四拾五錢　郵税八錢
本年初めて刊行し、日記界に破天荒の意匠と、周到を以て知られたる本書は、大正六年度用は、更に幾多の改良と工夫とを加へ、既に製本出來して御注文に應じ、續々發送中なり、大部數の御注文に應ずるの準備あるも、此際至急御申込なき品切の憂あり、躊躇せば

支那論　山路愛山著　定價金六拾錢　郵税五錢
著者が現代史論界に於ける一方の雄たる所謂學問と經驗上に超出して一位地を鎭ずるは吾人の言を俟たず、本書は支那の現在將來に沙りて、著者の論評を燃犀の眼孔を以て縱横自在の文流を試みたるもの、愛山氏の双絶を十分に發揮したりと謂ふ

近刊豫告　大正の青年と帝國の前途　蘇峰德富猪一郎著（最近發賣）
▲特製總革表裝▲並製紙表裝▲上製總布表裝　定價一圓以內
本書は本年三月以降今現に國民新聞に連載中の大論文にして、天下に問はんとす、本書は著者の思想經綸を以て帝國の前途に對し、著者の概世の餘に成れる史的に明示せる、大正青年の覺悟の方針を、經國の大論策にして、眞に國家に貢獻する所多大の著述也

東京市京橋區日吉町　發行所　民友社出版部
京城太平通一丁目　發賣所　京城日報代理部　電話四六〇番　振替口座京城三〇〇六番

新刊圖書御案内

琴古流　尺八樂譜解説　一部定價 郵税二錢 要郵券者は
琴古流　尺八樂譜　東京小石川區大和町　尺八教授　水野呂童

書名	著者	定價
青年雄辯法	藏川忠康	一、〇〇
マドロスの悲哀	太刀	一、二〇
三角法要義	松村安次郎	一、八〇
和譯註解妙法蓮華經	伊達	一、二〇
帝國六法全書	市要	一、七〇
最新普文受驗準備書		一、六五
信用及擔保貸付論		一、二〇
西洋中世史	遠藤吉三郎	一、二〇
戰後の經濟政策	服部文四郎	一、八五
イソップ物語	浦山正雄	二、三〇
日本債權法總論	嶋山秀	一、八〇
高等文官試驗問題集		六五
刑事訴訟法論	林頼三郎	三、二〇
斷食療法と其實効	宮原立太郎	六〇
日華實用會話集	張上	一、〇〇
朝鮮語學捷徑	佐藤	五〇
鮮古蹟圖譜	總督府	一、五〇
民事訴訟法原論	岩田一郎	四、五〇
法律類聚要旨類集　第四卷		五、〇〇

［illegible］松堂書店　京城本町二丁目　電話一一六六番　振替京城二四五四番

新刊書御案内

書名	著者	定價
史記史話	重田定一	一、二〇
我觀南國	山本實彦	一、五〇
西洋中世史	遠藤吉三郎	一、〇〇
法華經の行者日蓮	姉崎正治	一、三〇
和譯註解妙法蓮華經		九五
徹底論	加藤咄堂	一、〇〇
マドロスの悲哀	平塚大刀雄	一、二〇
愛染集	泉鏡花	一、〇〇
論語と算盤	澁澤男爵	一、〇〇
通俗青年雄辯法	蒲川忠康	一、〇〇
立志成功苦學の裏面	深海豐三	三八
短期斷食療法と其實効	宮原立太郎	六〇
法窓隨筆	北島良治	五〇
最新野球精通	馬場勇山	六〇
家庭學校教訓資料少年修養百話	永松木長	三〇
ペン數字練習帖	大阪屋號編	一〇
四季手紙の文	中村春雨	六〇
少女手紙の文	同	三〇
少年手紙の文	同	三〇
照井五先布石攻合法	中川龜三郎	一、二〇
布石攻合必勝法	雁金準一	一、二〇
小倉百人一首標準かるた讀札取札		各四〇

大阪屋號書店　京城本町一丁目　電話八四〇二〇八六　振替京城一五七

鹽　各種食鹽販賣　鹽物委託販賣　龍山製鹽所　龍山元町四丁目　電話龍山四七番

朝鮮に留置き大阪の市場を混亂ならしむる事となれり原因は構内の狹隘を除き其罪の半は敏活を缺ぐ運送店
……の有樣にて殊に時局發生以來三菱久原鈴木古河藤田安田等が瀬戸內海の沿岸に堂々たる陣を
……去せり夫人は長野縣佐久郡小諸町竹內氏の女にて明治九年小山氏に嫁し內助の功あり賢夫人の名高かりき
……して除算法を講ぜざりしは大手筋がといふ者あり
▲米國棉花不作の結果大豆油需用激……に於ける結果目下安値時代の到……物のみでバラ取引を見るに過ぎざるがいよ〳〵米國筋が買進み來るに於
▲群山近海に於ける九月中漁況を聞くに鯛延繩從漁船は廣島縣九隻熊本縣……不漁なりしも道內鯛漁船は福岡縣八隻漁撈日數十日間にしてニツ四十四樽價格三十三圓エビ百圓一隻平均三十五圓の漁獲ありて昨年同月と大差なく鮮人スヽキ延繩從漁船は全北五隻忠南三隻計八隻漁撈……三十七……隻の平均四十五圓の漁獲ありて昨年同月に比し大差なかりしと

●灯の海 夜の市中の賑ひ
莊嚴なる還御祭=本町通りの人波

十八日午後五時三十分途中全く恙なく神輿還御あるや齋主齋員一同直ちに神輿を祭舍に奉安し莊嚴なる還御祭を行ひたるが還御の前後より南山公園にては氏子より寄進にかゝる煙火の打揚げあり殊に總督府附近にては輿丁一同今を限りと進んでは退き退いては進み大に

□揉に揉んで揉み廻り大景氣の裡に擔ぎ上げたるが見物人は南山の中腹に群がりたり、又夜に入ては前夜祭の時と同く神境內に於いて各町有志連の奉納素人角力博多仁輪加、武德館連中の擊劍、劍舞あり神社前は數の獻燈灯りて白晝の如く山上より絶えず打揚らるゝ

□煙火と共に頗る景氣よく、參拜の善男善女は夕刻より踵を接いで櫛の齒を引くが如く空前の賑ひを呈したり、更に又夜の本町通りは十六、十七日の兩夜と同じく各商店にては各々店頭の裝飾に意を用ひ目先を變へたるため人出夥しく殆んど肩摩轂擊の雜沓にて大賑ひを呈し各興行物も此の餘澤を蒙りて大入滿員の盛況を見、市中の料理店遊廓等は神輿のお供を難なく勤め終りたる消防夫連中の一杯機嫌にて繰込むものもあり祭典委員等のメートルを上げて痛飲するあり

□各券番は殆ど箱切れの盛況、市民は京城神社に歷代の御遷座祭の行なはるゝ十二時過まで又となき歡樂に醉うて浮かれ廻り本年の秋祭りは豫期の通り昨年の共進會當時にも劣らざる賑ひにて終りを告げたり

龍山加藤神社の神輿

●南鮮演習 十九日より開始

秋風颯々たる三南の平野にて十九日より開催さるべき歩兵第四十旅團演習の幹部は十八日來田旅團本部宿舍千歳館に入りしが其統監部及び兩軍指揮者左の如し

▲統監部

統監	陸軍少將	金久保萬吉
審判官	歩兵中佐	木下宛九郎
同	砲兵中佐	西部端之助
同	歩兵少佐	神尾直次
同	同	小寺外二郎
陪從官	砲兵大尉	淺井卯吉
同	歩兵大尉	稻城懋德
同	同	甲 直衞
同	同	田中九郎市
同	砲兵大尉	石田新之輔
同	歩兵大尉	眞山周二
同	同	島野巖太
同	砲兵中尉	佐島 謙

▲南軍第八十聯隊

指揮官	歩兵大佐	安原啓太郎
副官	歩兵大尉	豐島三郎
大隊長	歩兵少佐	伊藤節造
同	同	笹倉 昇
同	同	小田末次郎

▲北軍第七十九聯隊

指揮官	歩兵大佐	宮塚貞一郎
副官	歩兵大尉	佐々 高裕
大隊長	歩兵少佐	末松四郎
同	同	二宮季夫
同	同	平澤直巳

△觀戰武官 機動演習觀戰の爲め十九日來田するは秋山軍司令官白水軍參謀長松井少佐横尾大尉の四氏なるが何れも零時廿五分來田中川旅館に投宿の筈

△聯隊集合 各地守備の爲め配置されある歩兵第七十九聯隊第二第三大隊は十六日水原及び鳥致院芙江を發し午後二時半來田直に各宿舍に入れり

△市民歡迎 是れより先き兵士來田に付き宿舍の務を盡すは勿論なるも尙各兵士を如何にして慰安を與ふべき哉に付學校組合會協議員各區長にて遺憾なきやう協議し各區に委員十名宛を選擧し各事務所を置き準備に忙殺され居れり

△諸隊來田 當日卽ち十六日は各戶國旗を上げ在鄕軍人は勿論官民有志新聞記者等町外れに一行を迎へ市民諸列して靜肅に迎へたり

△聯隊教練 來田せし第一第二及び大田第三大隊は十七八の兩日聯隊教練をなし十七日早朝は儒城方面にて野外演習をなせり

△南鮮の部隊 馬山重砲兵隊及び釜山の歩兵部隊は十七日夜入田せり(大田支局)

●鎌田工學士 精神に異狀を來せるか

過般廣西省賀縣に於て山賊の爲め人質に取られたる廣東三菱出張所員法學士愛媛縣人鎌田六三郎氏は香港三菱社員一名附添ひ十八日郵船靜岡丸にて門司經由歸著せり鎌田氏身受は最初一萬圓の觸れ出しなりしも支那官憲の交渉に依り四千圓に値引し百名の支那兵を從へ身柄を受取りたるが氏は元來頗る快活なりしも一箇月餘の監禁に依り生れ更りたる如く沈痛となり多少精神に異狀を來せる如し(門司特電)

●朝鮮語の聖書を完成した故ア牧師
ゲール牧師の追悼談

嗚呼アンダーウッド氏は遂に此の世を去った牧師は米國人ではあるが生れは英國倫敦である、其父君は英國人より米國に入籍して米國人となつたのである氏は米國紐育大學を三十六年前に卒業して以來宣教師に成りたいと云ふ事でニュゼ市のニツブラッスベキ

▲神學校 に入學し滿三箇年にして同校を卒業すると直ぐ朝鮮に渡つたから朝鮮に宣教師として來たのは此の牧師を以て嚆矢と謂はざるを得ないのである氏の前にアンレンと云ふ宣教師が居つたけれども其人は醫師であつて其後米國公使になつた人であるがアンレン氏は甲辰の年政變に閔泳翊氏が片耳を落されたる時手術を施し治した事もある、朝鮮に於いて基督一番先に宣教師として傳道された人はアンダーウッド氏が始めてで現に吾等

▲宣教師 は百二十餘人もあるが故牧師は我等の父の樣に仰がれて居るから朝鮮の耶蘇教は牧師が卽ち開拓者であつて新舊約の飜譯も同牧師が命援となつて成功させたので我等も其飜譯の任に當つて居たけれど其大部分は同

故アンダーウッド牧師

牧師の手柄である西大門內の蓮井洞禮拜堂も此牧師の始めて設立したもので耶蘇教青年會も同牧師の家で組織し今大盛況を呈して居る氏は三十何年朝鮮に於て熱心傳道に從事した功勞からす各派の中でも我等北長老派が一番盛んなのも氏の功勞が與つて力がある、氏は精力の強い人であるので傳道する餘暇を以て公益事業に心を注ぎ教育及び

▲著述等 にも努力した今の青年會館內に設立した基督教大學なども此間迄全く作り上げんが爲め努力し米國に於て數萬圓集めの運動をなした結果效能同に達した今度の逝去は我等教會の損失のみならず一般に大影響を受ける處は甚大で殊に將來必要とすべきである、氏の著述に係る書籍は朝鮮語字典、朝鮮文典、贊美歌三道を譯した書物等である氏の夫人は朝鮮で

▲結婚し た其の間に出來た子供一人の外は家族として更に無く夫人も始終病氣で苦んで居る氏は昨年日本に行つて歸つた後は何時も消化不良症に罹り不已得治療の爲め今年の六月歸國したるが五十七歳を一期に去る十五日此の世を失つたのは惜しむ可き事である

●お賑やかな新總督の家庭

新に朝鮮總督の任を帶びた長谷川元帥の旧宿田のお邸には長子の方と云ふ賢夫人が居られます今度元帥が總督の

▽大命を 拜したことに付ては大變喜ばれ目下風邪の氣味で病床に臥つて居られますけれども來客でもあれば快く之を迎へられる元帥は至つて子寶の少ない方でお二人の中の實はかつ子(二九)さまお一人で此方には神戶の鈴木氏和氏の長男で目下歩兵第三聯隊長たる猪三郎氏(四七)を迎へられたのであります

▽御夫婦 の間には長男東吉氏(二三)長女芳子(二〇)次女多嘉子(一八)三女文子(一五)四女俊子(一三)五女弘子(一〇)と六人のお子達が居られますが不幸にも勝子夫人は昨年の冬此可愛い方々を遺して病死せられたので今は元帥夫人が殆んど一人でお孫樣のお世話をなされて居らつしやいます

總督夫人辰子の方

▽勉強の 御仕度迄見られるのが却々お召物のお世話から食事で大抵ではないとのことです併し長女の芳子さま及び次女の多嘉子さまが未だお嫁付にならず家庭に居られるのでお祖母樣のお手助に大變なると伺つて居ます晩餐の時など伺つて見ますと元帥御夫婦を始め御家內

▽十何人 が同じ食卓を圍んで御飯を召上つて居られる處などは誠にお美しい程お賑かなそして樂しい御家庭でございます、元帥が當地へ御着任になりましても種々御家庭の御都合で御家族はお連れになりますまいと存じます因に元帥は今年六十七歳夫人辰子の方は五十三歳になられます(某夫人の談)

●高陽郡に降雹

十五日午前九時頃より約五分間に亙り高陽郡一山里附近に直徑一分位の降雹ありしが農作物には被害なしと

コレラ彙報

▲大邱市街に發生 十六日大邱村上町十八番地崔學瑞妻朴南伊(三〇)は眞正コレラに罹れり村上町慶尚北道廳裏にて大邱目貫の場所元町通りと隣接したる事とて當局及び府民は非常に警戒し居れり(大邱)

▲吉野町に眞正 京城吉野町二丁目安慶圭方同居安姓女(二五)は東幕上里姜順日の妻なるが東幕はコレラ流行地のことゝて十六日夜竊かに東幕を脱け出で生家なる吉野町に立歸り歸宅後間も無く發病して臥床中なるを十七日本町警察署員の檢病的戶口調査の際發見され採便檢鏡の結果十八日午前眞正虎列拉と決定し患者は直ちに順化院に收容し本町署防疫班にては患家の大消毒隔離を行ひたるが患家の下には下水溝あり吉野町一丁目を貫流し居り甚だ危險なる爲め該小川に消毒を爲し河水使用禁止の札を立てたり

▲舟橋町患者 京城舟橋町廣田みちよ(三四)は檢鏡の結果陰性と判明す

▲廠浦 廠浦姜龍秀(四二)は十六日黃銀奉(三二)及び桃花洞李氏(三六)二村洞金氏は何れも十七日疑似患者と判明す

▲水原に發生 水原郡西新面何安里にて十七日朝鮮人一名の發病者ありたり

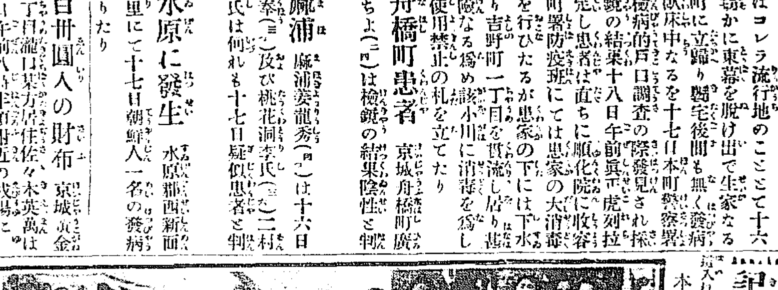
◎百卅圓入の財布 京城黃金町三丁目瀧口某方居住佐々木英萬は十五日午前八時半明治町附近の或湯に行き歸宅の後脫衣場に現金百三十圓入りの財布を置き忘れたるに心付き直ちに引返し取調べたるも行衞不明なるより其旨警察署に屆出でたりと

神輿拜觀の小學生

◎水道鐵管破裂 十七日午前五時頃京城古市町待井精米所前の京城水道鐵管幹線俄然破裂して地下より盛んに噴水し古市町一帶の路上は俄かに泥濘と化し古市町吉野町方面は斷水するに至りしが水道係にては極力工事を急ぎたる爲め同日午後四時頃通水するに至れり

從軍日記
(南鮮演習に於ける從軍記者監督部にて)
勝村長城

□十四日(續) 劉房子から役所に便乘して滯在の宿舍に歸る、昨晩の宿のアンペラの上へゴロ寝の宿に比らべると毛布二枚宛あてがはれて六疊間に七人で寝る詰まれても金殿玉樓の寝床へ這入つたやうな心地である、その上風呂にまで這入れたので一同大悦び、夕刻から懇親會が開



本社後庭に休憩せる中券連

小さなこそ同宿の者の酒落に

▲燒肴と漬物 と云ふ和身だ、そ

御多忙中を何度の當構に候らへど小生等一同將校同宿の待遇を被下成難有候らへど近來は食卓辦當等川參命令時刻の間に不合出遊擬(へ附官)に下拙候間左の大意(大尉)を御用商人に御傳へ御注意(中尉)被下度候大同小異(少尉)は止むを不得候らへど御規(正)よりは盛ん(佐官)に大義(大佐)ある模樣に御座候これでは演習終らざるに中座(中佐)の失體いたす事も不計られず(詳細)少佐の事は別に申述候らへど斯々(閣下)くの通りにて少々(少將)困難を感じ毛布の如きも一枚にて中實(中將)寒氣身に迫りて夢を結ぶ事能はず候らへば大小へ取り度候其威如何に猛烈なるとも苦れ願せん(觀戰)やと云ふわけにも參らず候情理部御中

斯んな事を云つて大騷ぎをして居る、夕刻から又雨、兵士は今夜もまた雨の露營だ、聞けば昨夜なども、道路泥濘にして大行李は著せず前線の兵士には

十二時頃に成つてから一人に高粱飯一合宛 渡つたばかりだそうだ、演習とは云つても滿洲平野の戰中

爭と同じ 程だ、夜に入つてから雨は降り續いた、(へ)這入り込むと其の困難と物質の缺乏とは戰……明日は午前五時に出發するやうにと統監部から通知が來た、十二時頃寢れば又雨出した

く、その內に兵隊さんが夕飯を運んで來て呉れる、管理部炊事場は五六町も離れた所に在るのだから

▲全く氣の毒 だその上、夜中まで何回となく從軍記者監督部から「……」なんて下らぬ事まで使に來る、次は盛つて北風が強い、美しかつた黃葉の森が昨夜からの雨で大方散つて終つた、滿洲に來て一週間ばかりの間に秋は急に冬に移り變つた、南方の大行李は十時頃宿舍の前を通過した「飯が有つたら貰つて下さい」と誰か窓の外で呼んで居る見ると兵隊さんだ「これから北に前進するんです」と云ふ宿のお女將さんが三人ばかりの飯を握つてやると

十四錢を出して どうでも受取つて呉れない ごし押問答して居る樣子だ、風は強く、砲聲に窓の雨戸がバラ〳〵と打つ。

□十五日(雨) 今日は南鮮對抗演習の終了となるべき重要の戰鬪の行る日だ、午前四時頃起きて見ると生憎な交へた雨だ、午前七時迄に大池の南方米舖山に集合すべき命令を受けて居るのだが朝飯が來ない止むを得ず

▲露西亞パン 丸二つばかりポケットに押込んで出掛ける、雨と雪で濡れるやら冷たいやら二里ばかりの道を急いで米舖山に着いた、勇ましい旅團對抗演習は午前十時に濟んでこれから軍の編成變更になるので自分達は再び二里の道を歩んで滿家市に歸る、雪は降り止んだが寒氣は朝よりも甚だしく零下四度に降つた數日來の睡眠不足と東奔西走とが大分應へて來た、正午過滿家市に著き一と眠りと樂しんで居ると同宿の豪傑連が酒宴を始めるやら駄酒落が連發するやらで遂に一寸も眠らせてくれぬ、公主嶺から付いて來た酒保の御用商人は兎に角不親切で三度の食事を一度に運んで來たりなんぞ甚だしきは一食九十錢の御飯のお菜が漬菜二切れに

▲教育寫眞 十九日二十日兩日午後六時より京城青年會の主催に依り壽座に於て開催する活動寫眞『小公子』は米國人バーネット夫人の傑作にして米國の家庭小說として米國の紙價を高からしめたるものなるが英國キネト會社に於て之を撮影し世に示すや高評嘖々たるものあり內地に於ては帝國劇場に於て之を映寫して大喝采を博し遂に文部省に於て認定を得るに至りたるものにして今や學齡女子に見せて有益なる活動寫眞の皆無なる場合に於て『小公子』の如き活動寫眞は各家庭及教育者の最も歡迎する所なるべし

▲黃金館寫眞替 十九日より特別寫眞と全部差替たるが其の主たるもの左の如し ▲實劇伊太利ローマ橋▲滑稽スタウト流行を追ふ▲泰西活劇旅設水荷全六千呎▲舊劇本町風屋敷『お菊皿』五十三幕▲新派連鎖劇『闇の春』全三卷

▲有樂館 水藥吉田彌五郎一座の幕興並びに特別、寫眞にて連夜大好評

登錄商標 本椿香油 大阪 三宅 本舖

各宮妃殿下及宮內省御內儀御用之光榮を拜せり九條公爵家始其他華族貴顯方御常用の榮を蒙れり
各博覽會にて金銀牌受領
●注意 二婦人共頭上桶なきは僞物
定價 卅錢、卅錢、六十錢、一圓
髮を黒く長くつやを出しさらくとして髮のぬけを防ぎふけかつかざる事妙なり

京日案內

普通 一回前金三十錢 番外 一回前金六十錢 一五回分無割引

[普通]

店員入用 年齡二十歳迄 本人來談あれ 京城旭町一 月桂園茶舖 544

▲書籍類の綴直し製本致します 本町二 電二五二七●ツボヤ書店 427

大正六年當用日記、懷中日記 十一月迄二割以上引 京城本町●電二五二七●ツボヤ書店 427

店舖讓り渡す 本町通二丁目最上の場所菓子店都合により有姿儘讓渡す(姓名在社) 540

◎醫師代診生一名入用 希望者は苑南洞(總督府醫院通)德永迄申込あれ 藥備舖內 535

記者及外交員採用 希望者履歷書携帶來談あれ 月收五十圓以上確實 花園町一一二 中央金物新報支社 536

◎金融 月收の御方へ極秘信用融通便宜立替御報伺又御來宅 大和町三ノ三二(柄澤前)起木屋 537

◎古本 高價買入 京城本町三丁目 東京堂書店 446

姬婦產婦預所(規則申込次第送呈) 京城南山町二の三五 ○京城產養院○ 電取次一三三九 483

◎電話讓渡したし 御希望の方は電話百番又は二千百番に申込あれ 525

[番外]

骨つぎ(くじき うちみ) 明治町佛國教會前電話五九五 仁壽堂 542

ち、門 專門治療 產婆 荒川元子 京城南山町三丁目一八

產婆 マッサージ 三浦小糸 電話一四四○番 543

外務員數名採用ス希望者ハ履歷書携帶本人來談あれ ▲京城大平町一丁目一三ノ七 ○明治產業株式會社京城出張所 電話二七九三番 546

詐僞橫行 僞萬年筆行商人山名 右者當店の名儀を詐稱し各地を橫行 御注意相成度 京城旭町二ノ六 パイン萬年筆 東京植松出張所 545

礦物定量分析 京城府太平通(朝鮮公論社左小路) 電話一三四四番 坂元分析所 538

勸業 貯蓄 債券高價買入致します 地方は書留郵送次第代金差上ます 京城長谷川町五八(朝鮮銀行橫) 日本勸業銀行債券月賦販賣所 541

◎京城春川間自動車 ◎京城春川間毎日午前八時出發 賃金片道四圓 南大門通一丁目 東京 廣橋 自働車 電話一二九番 主務 金正淵 428

銅線 織 魔法瓶中瓶取替 柳製專賣鞄 其他色々 京城本町一丁目 高木旅行用具店 447

▲鑛物 各種 分析 京城太平通二の一三○元朝陽分析所 電話二八二三 松永分析所 448

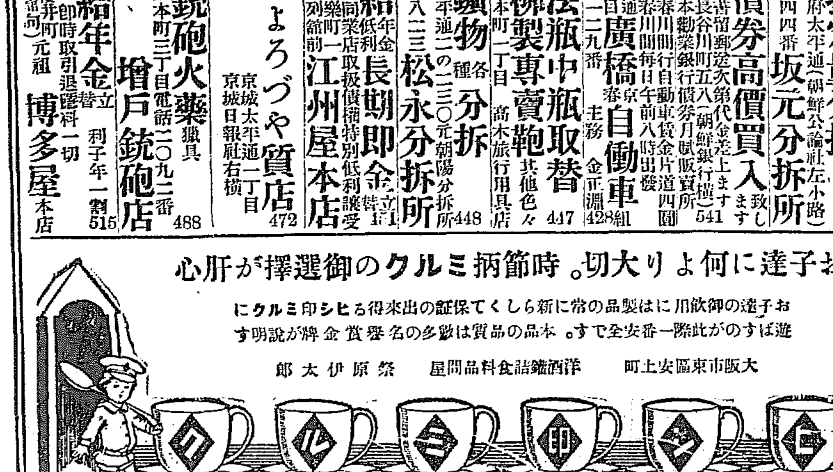
恩給 年金 低利 立替 ▲地方向業店取扱 京城永樂町一 商品陳列館前 長期即金 特別低利讓受 江州屋本店 [illegible]

質 よろづや質店 京城太平通一丁目 京城日報社右橫 472

◎銃砲火藥 獵具 京城本町三丁目電話二○九二番 增戶銃砲店 488

恩給年金立替 即時取引退隱料一切 利子年一割 京城櫻井町(大正帝一?) 元祖 博多屋本店 515

田舍行 駄馬運搬 貨物取扱 友田 京城新路通五 東大門內 電話駄馬部二八○六 鐵道部一二八二 運送部出張所 ▲春川原州 忠州驪州



お子達に何より大切。時節柄ミルクの御選擇が肝心

お子達の御飲用には製品の常に新らしく保證の出來得るヒシ印ミルクに遊ばすのが此際一番安全です。本品の品質は數多の名譽賞金牌が說明す

大阪市東區安土町 洋酒罐詰食料品問屋 祭原伊太郎

星印ソース

いづれの御家庭にてもソースは星印を御使用です

全國到る處の洋酒罐詰食料雜貨店にあり

星印は品質及賣行に於てソース界の明星なり

發賣元 大阪市 祭原伊太郎

女鳩

渡邊默禪

（一三五）涙!!

と、源太は體面惡さうに天窓を掻きながら

『實は何でげす。生駒から二百圓てゑ金を貰ひやすと、乞食がマニラの富籤にでも當つたやうに急に氣が大きくなつて、ソレ貞も來い熊も來いツてゑな譯柄式で、友人をざらに集めちや飲んだり食つたり遊んだり。

大風呂敷をひろげたもんでげすから横濱に居る時分にもう大部分煙にしちめゑやした。で、山形へ來てから生駒に強請つて五六十圓の追錢をとつたんですが、それもすつかりはたいつちまつて。今ぢやあ空ッ尻も同様なんです。何しろ貴様を殺らしさへすりや、明日にも二千圓そつくり貰へるとばかり思つてたもんですから……ゑへ〻』

『稲うぢや上げてよ』

鳩子は無雑作に衣兜から柔革弗入を出して、ちよつと披けて見て

『ちやうど三十圓だけあつてよ。さ、これを上げるから旅費にして、兎も角東京へお歸りなさいな』

大野は目を瞬つた。それよりも驚いたのは目先に紙幣を突つけられた本人だつた。

『およ、冗談ぢやごあせんよ、お嬢さん。恐ろせゐ罪を赦して戴いて、いろ〳〵と骨身に泌込むやうなお情深ゐお言葉を聞かしてお呉んなすつただけでさへ、もう涙の流れるほど有難くつてならねのに、こんな大金までお貰ひ申しちやあ罰が中りまさア。そ、そ、それは御免を蒙ります。どうぞお仕舞になすつて』と手を振つて辭退した。

『いゝのよ、遠慮しなくつたつて。お前が真人間らしい精神に立返つてくれたその歡びは、なか〳〵お金なんかぢや買はれはしないわ。私しお祝ひをするんだからね、祝儀だと思つて收つて頂戴。いゝの、私しのお小遣使だから』

然う云はれて源太はへゑーと言つたきり、掌を目にあつゝぼろ〳〵こ墜る涙を抑へた。この刹那の光景が大野の心に何とも言ひしれぬ微妙の衝動を與へた。何物か電流のやうなのが閃いて來て、ぴり〳〵と靈の瓣膜をふるはしたなと思ふうちに、その光明に攝取された彼のはーとから有らゆる不平や不滿、憎惡や輕蔑の念が取り去られて、清なしい感じが湧然として溢れて出た。

『む』ぐつと反りかへつて、讃美するやうに目を擧げながら『ゑらい、やはりお嬢さんはゑらい。おい、源太。折角のお志しだ。遠慮なく貰つて置け』活氣づいた語で言つた。

『だつて旦那。こんなにされちやあ私ア……』燃ゐるやうな感激は只涙に化して、それつきり言へなかつた。

『まア、いゝ。取れツ。その代りに源太、東京に歸つたら堅氣な職業にありついて、一生懸命に勉強しなけりや不可んぞ。それがお嬢さんの恩に酬いる第一の道なんだから』

『へゑ、この御恩は、き、き、屹とお近ゐうちに……』と眼を拭く。

『僕の下宿は神田の錦町二の六で芙蓉館といふ家だ。ちよい〳〵尋ねて來い。相談に乘つてやるからよ』

『へゑ、必ずお尋ねもしやすし、又た私の居所が定つたらお知らせします。生駒の事で御用がおあんなすつたら、何日何時でもお使をお呉んなさいやし。私ア何處までも證人になつて、白い黒いの裁きをつけやすから』

『む、賴うして呉れ。だが今夜の所はどうする。まさか夜中に山を降りる譯にもいかんだらう』

『なアに、慣れてゐやすから松明一本で樂に飛べまさア。今夜の中に大井澤まで下りて去つて、又た寺へでも泊りやせうよ』

源太は然う言ひながら搾りと洞の口の方を透し見るやうにしてゐた。其時は三本まで松明を燃やして了つた、そこらに散らばつてゐた木の屑——熊狩に用ゐた——を大野が萃めて來て、辛くも火をつなぎ、一本の松明が歸路の豫備にやつと取殘されたゞけだつた。で、餘炎をとゞめた焚火も危く滅ゐさうで洞の中は朦朧としてゐた。頓て源太は突と膝を立てたかと見る間に、大野の傍にあつた獵銃を把つていきなり洞の口へドンと發した。轟く爆聲の下から彼は銃を持つてばた〳〵と駈けた。鳩子と大野は喫驚して追蒐けた。

秋は菊（物産共進會銀牌受領） 菓子は名代の『栗饅頭』 千利堂（本店電話二七一〇 支店電話二九三〇）

入院隨意（診察夜九時迄） 皮黴科 皮膚病 黴毒病 淋病 膀胱 生殖器 機能障礙 日曜祭日午後二時迄 京城明治町二丁目(元二丁目) 佐藤醫院（電話一一七三番）

商況

大阪株式特電

合同紡績	二六、五〇		
鐘淵紡績	二六二、九〇		
同上新株	二四〇、九〇		
東洋紡績	一六三、〇〇		
大阪商船	一九、三〇		
日本郵船	一七八、六〇		
十一月限	一六〇、九〇	一六〇、八〇	
十二月限	一六〇、五〇	一六一、〇〇	
一月限	一六一、〇〇	一六一、〇〇	
二月限	一六〇、六〇	一六一、〇〇	
三月限	一六〇、六〇	一六一、〇〇	

寄十五圓〇二錢大阪前止十五圓二十九錢後寄二十七錢の入電にて當地寄十二圓五十錢中十二圓四十三錢より四錢と進げ一錢引先十一圓八十五錢と一錢安に寄付たるも [illegible]

▲大に賣る [illegible]

▲取組高增加 [illegible]

平一節 [illegible] 十一圓 [illegible]

同情に堪へぬ

不幸な人とはコンナ人を云ふ

●腦神經衰弱症に苦む人 ●生殖器衰弱症に悩む人

近頃此病人が多くなつた、大抵コンナ態で苦悶して居る、頭痛や眩暈や耳鳴がする、夜は不眠、眠るとも惡い夢を見る、食慾減退、便秘、動悸や息切がする、首筋や肩が凝る、手足がダルイ、生殖器が衰弱して遺精や早漏となり、勃起力減退、交接不能となり、何事も手につかず、精神力、記憶力、思考力、判斷力等減退、常に取越し苦勞をする、何事を見聞しても快感なく毎日悲觀ミ苦悶にて自分の身体を持餘すような不幸なる人あらばハガキにて救世堂へ ▼東京市東兩國小泉町廿八 ●●●● 申込あれ特效藥セーフの説明書を送る

新荷着 スイツル製 懐中時計

機械堅牢示針正確體裁優美然も使用的にして價格の低廉なる事天下無比

ニッケル側 十八形（片蓋） 二圓五十錢 同 十八形 同 二圓八十錢 同 十六形 同 三圓九十錢 同 十四形 同 三圓五十錢 同 十七形 同 六圓三十錢 同 ラジューム付 同 十八形 同 五圓 同 十六形（兩蓋） 二十三圓 金バリ 同 十八形（片蓋） 十六圓二十錢 金鍍金 十年保險 同 十六形 二十八圓 以上三百圓迄各種 同 十八形 二十一圓五十錢 十六圓八十錢

右は今回新着の商品にて本商會獨り之を有し他店に無き所のもの故御用命の御方は地方遠隔の御注文に對しては代金引換小包便にて御引受仕候 時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貴重輸入商 イングレッツシー商會 本店 京城本町二丁目 電話九七二番

林檎と梨

美味ヲ以テ好評アル 朝鮮島致院 弘益殖產株式會社農場 振替京城一〇番 電話鳥致院六番

菊ならば

黄菊しら菊。 菓子ならば 森永ミルクキャラメル

ポケット用 大廿個 小十個

東京 森永製菓株式會社 大阪

5—19

淋病新藥リヨール

帝大醫學藥學博士多數實驗の結果理想的治淋劑と確定せる

▲本品は殺菌力强大にして絶對に胃腸を害せず、膀胱カタル、尿道炎、睪丸炎、腎臟炎、消渴等其他一般急性、慢性、淋病に偉効を奏す

三十粒 五十五錢 五十粒 八十五錢 百粒 一圓五十錢 廿五瓦 八十錢

▲説明書無料贈呈す

◉到處藥舖に販賣 發賣元 東京市日本橋區檜正町九番地 リヨール商舍 代理店 大阪西道修町 田邊闔五兵衛

特許茂木式製造株式會社 ニほまれ味噌 製造元 日本醤油株式會社京城出張所 電話二三四五番

淋疾內用 ブレノリン

本劑ハ「ヘキサメチーレンテトラアミン」ト硼酸トヲ結合セシメタル新化合體ニシテ「バルサム劑」ト異リ之ヲ連用スルモ毫モ胃腸ヲ害セズ容易ニ吸收セラレテ尿中ニ分泌シ尿量ヲ增加シ且殺菌作用偉大ナリ。

急性、慢性、淋疾及消渴、膀胱尿道加答兒ニ賞用ス 宇野博士緒方博士櫻根博士ハ本劑ノ治驗報告ヲ發表セラレタリ。本劑ハ粉末及錠劑アリ。各地有名藥舖ニアリ 説明書進呈ス

東京室町 三共株式會社

京城弊支店主 任井關吉次郎儀豫て病氣中の處療養不相叶十月十七日死去致候此段謹告仕候也

追而十九日午後四時本町二丁目支店出棺南山東本願寺に於て佛葬相營候也

大正五年十月十八日 熊平源藏

井關吉次郎儀豫て病氣療養中の處藥石無効十月十七日午前三時死去致候此段生前辱知各位に謹告仕候也

大正五年十月十八日

妻 田鶴 親戚總代 井關吉兵衛 直野市五郎 友人 唐川立造 吉野萬之助 總代 松浦音治 北村隆之助 篠崎半助

神佛葬儀請負 供花御寄贈品一切 京城大和町壹丁目五一 大和葬儀社 電話二四三八番

葬儀請負 供花御寄贈品一式 京城本町二丁目(壽館横) 朝鮮葬儀社 電話五六二番

日本郵船仁川出帆

○大連、太沽、牛莊行 相模丸 十一月九日 正午出帆 高砂丸 十一月十九日 正午出帆 三河丸 十一月三十日 正午出帆

仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆

○君が代丸 十月廿日後四時大阪直行 ○群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行 大有丸 十月十九日後四時出帆 ○神代丸 十月廿八日後四時出帆 ○秀吉丸 十月廿二日後四時出帆

仁川海岸通一丁目 電話五十九番 杉商回漕部

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戶、大阪行 立神丸 十月廿一日後五時出帆 ○小倉丸 十月廿四日後五時出帆 ○元山、清津、浦鹽行 山神丸 十月十九日後十時出帆 ○小倉丸 十一月二日後四時出帆 ○元山、西湖津、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 十月十七日後六時出帆 ○門司、宇品、神戶、大阪行 第三琴平丸 十月廿八日後六時出帆 ○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 ○天眞丸 毎月二日より十四日廿六日 午後十時出帆

釜山港埋立新町 本船坂店 大池回漕部

大阪商船仁川出帆

○外航路所屬航路並洋航路を除く開運搭載船の時は五分の五以て連絡切符發賣仕候

○群山、木浦、釜山、關門、神阪行 天得丸 十月二十日 ×安東丸 十月廿七日 後五時出 ×薩州丸 十月廿四日 ○信濃川丸 十月二十日 ×木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行 信濃川丸 十一月七日 後二時出 ○群山、釜山、横濱行 福州丸 十一月三日 潮州丸 十月廿三日 後二時出 ×木浦、關門、神戶、大阪行 薩摩丸 十月十七日 後二時出 ○釜山、横濱行 福州丸 十一月 日 正午出帆 ×鎭南浦、大連行 信濃川丸 十一月廿日 信濃川丸 十一月二日 後二時出 ○大連直行 福州丸 十月廿八日 潮州丸 十月十九日 正午出帆 ○鎭南浦、龍岩浦、安東縣行 日米丸 十月廿六日 正午出帆 ○清津、浦潮行(元山出帆) 八城津西津ニ寄港 浦潮不寄港 ▲印 安平丸 十一月廿六日 宮島丸 十一月一日 後二時出 ▲上海、基隆、打狗行(大連出帆) 基隆丸 十月廿七日 後四時出 湖北丸 十一月十三日 前六時出

御注意 ◎朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道と連絡切符發賣仕候 ◎御乗船客は本船より一時間前に無賃送迎可致候 ×印は一等客御斷り ▲印は船客御斷り

切符發賣所 大阪商船株式會社仁川支店 電話二番二〇五番 京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七〇八番

◉中國四國沿岸各港船客に對し一割引を以て連絡切符發賣仕候

朝鮮郵船出帆

○全羅丸 十月廿八日 ○京畿丸 十月十八日 ○黄海丸 十一月廿日 ○咸鏡丸 十一月二日 門司より釜山各港寄港基隆航路 釜山發

○穩城丸 十月十九日 ○昌平丸 十月廿七日 ○鏡城丸 十月廿四日 元山より各港經由雄基行 元山發

○第二鶴城丸 十月二十日 ○忠淸丸 十一月一日 ○平壤丸 十月廿七日 城津清津浦潮行後航釜山より門司又は長崎行 元山發

○済德丸 十月二十日 井浦、九龍里、浦項各港寄港鬱陵島行 釜山發

○江陵丸 ○襄陽丸 毎日 長生浦方魚津寄港 釜山浦項發

○三浦丸 十月十八日 長承浦、麗水、巨文島、濟州島各港 釜山發

○海州丸 ○統營丸 ○巨濟丸 ○慶寶丸 毎日 各港經由麗水行 釜山發

○順天丸 三日目毎ニ 各港經由麗水より釜山行に接續 木浦發

○慶興丸 十月十七日 各港經由濟州島行西廻 木浦發

○慶興丸 十月廿二日 南方島、海列島行(月三回) 木浦發

○公州丸 十月十九日 各港經由濟州島行(東廻) 木浦發

○宗信丸 十月十七日 海州他各港經由、德洞又は白翎島行 仁川發

○江原丸 十月十八日 青島、大連、芝罘行 仁川發

○麗水丸 ○晋州丸 十月廿一日 十月十八日 各港經由木浦行 仁川發

○全州丸 ○南陽丸 毎日午前 江華島、岡橋島、海州行 仁川發

京城取次店 京城南大門驛前 松原運送店（電話長一七〇番）

本社 電話長一九五二番〔二三一〕番 鐵道省社及社外船と荷客連絡輸送の便あり詳細は支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會相願候

元山代理店 南大門 電話一二六八・二〇一七 田口回漕部 仁川代理店 本町四丁目（電話一七三番） 野口商會 京城取次店 春日町（電話二四四七番） 河村運送店

共同汽船仁川出帆

阿波共同汽船株式會社 大連にては青島行定期船と連絡荷客通し輸送取扱可仕候 鎭南浦、芝罘、大連行 共同丸 十月廿二日後四時入 十月廿四日正午出帆 朝鮮鐵道主要驛にて荷客通運輸送取扱仕候 朝鮮總督府命令船